

第 2 章 各区の相談概況

第2章の表・グラフについて

- ・契約当事者の居住区について聞き取りができたものについてまとめているため、第2章の表やグラフの相談件数合計値は、第1章と異なる。
- ・第2章の全区平均は、18区の平均値であり、居住区不明を含めた市内平均とは異なる。
- ・第2章のグラフ目盛軸は、区ごとに最適な値を採用しているため、区ごとに異なる。

平成30年度の相談件数について、市内18区の相談件数や、区民1,000人当たりの相談人数を以下にまとめた。

区民1,000人当たりの相談人数で各区比較してみると、区によってばらつきがみられ、その傾向はセンターが所在する港南区とその近隣区は多い。最大の区1000人当たり7.36人に対し最小の区は4.42人となり差が2.94人となった。前年度の差は1.87人であり差が広がっている。（【表1参照】）

【表1】18区の相談件数と区民1,000人当たりの相談人数（平成30年度）

順位	区名	区民1,000人当たりの相談人数(人)	相談件数(件)		区内人口(人)※	
全区平均（その他・不明を除く）		5.57	順位	1,148	順位	207,830
1	港南	7.36	3	1,574	7	213,891
2	南	6.75	6	1,318	11	195,342
3	磯子	6.20	11	1,033	13	166,607
4	戸塚	5.95	2	1,662	4	279,219
5	泉	5.93	13	903	14	152,296
6	栄	5.92	16	711	17	120,048
7	旭	5.90	5	1,449	5	245,727
8	金沢	5.68	10	1,131	10	199,034
9	保土ヶ谷	5.62	9	1,156	9	205,577
10	中	5.61	14	837	15	149,168
11	港北	5.26	1	1,847	1	351,448
12	神奈川	5.24	8	1,272	6	243,324
13	西	5.16	18	528	18	102,400
14	瀬谷	5.12	17	628	16	122,647
15	青葉	4.94	4	1,530	2	309,893
16	緑	4.61	15	837	12	181,582
17	鶴見	4.52	7	1,315	3	291,191
18	都筑	4.42	12	936	8	211,550
小計		－	－	20,667	－	3,740,944
その他・不明		－	－	1,398	－	－
合計		－	－	22,065	－	－

注 横浜市統計ポータルサイトの平成31年1月時点の統計値より引用。（年齢不詳の人数は除く）
相談者が匿名だったりすると契約者の居住区の聞き取りが困難な為、その他・不明に分類。

市内 18 区の若者層および高齢者層における、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると、若者層、高齢者層共通して 18 区のばらつきが大きいことがわかる。

未成年者の 1 位は旭区で 0.78 人、20 歳代 1 位は南区で 4.71 人となっている。

他方 60 歳代の 1 位は戸塚区 11.17 人、70 歳代と 80 歳以上では、港南区がそれぞれ 13.36 人、8.56 人と 1 位となっている。

なお、全体通じて最も多いのは港南区の 70 歳代で 13.36 人、最も少ないのは磯子区の未成年者 0.37 人となっている。

（【表 2】参照）

【表 2】18 区の若者と高齢者の区民 1,000 人当たりの相談人数（平成 30 年度）

区名	若者層				高齢者層					
	未成年者		20 歳代		60 歳代		70 歳代		80 歳以上	
	順位	人数	順位	人数	順位	人数	順位	人数	順位	人数
全区平均	-	0.54	-	3.73	-	9.04	-	9.24	-	6.49
鶴見	15	0.44	17	2.83	13	8.38	17	7.13	12	6.18
神奈川	16	0.44	3	4.25	7	9.30	9	9.49	17	4.90
西	4	0.62	6	4.12	14	8.37	15	7.95	7	6.96
中	8	0.57	11	3.55	18	6.96	18	6.23	11	6.40
南	6	0.58	1	4.71	2	10.93	4	10.36	3	7.27
港南	11	0.53	2	4.59	3	10.91	1	13.36	1	8.56
保土ヶ谷	5	0.60	9	3.81	10	8.88	10	8.87	10	6.64
旭	1	0.78	16	3.10	8	9.03	8	9.54	6	6.99
磯子	18	0.37	5	4.15	12	8.52	3	10.87	5	7.01
金沢	12	0.47	4	4.22	9	8.90	12	8.45	2	8.05
港北	2	0.73	8	3.94	6	9.77	6	9.66	4	7.05
緑	13	0.46	7	4.02	15	7.84	14	7.95	14	5.67
青葉	10	0.54	12	3.52	17	7.16	11	8.72	16	5.47
都筑	14	0.46	10	3.67	16	7.67	13	8.42	18	4.84
戸塚	7	0.58	14	3.35	1	11.17	2	11.67	8	6.77
栄	17	0.40	15	3.22	4	10.55	7	9.63	9	6.65
泉	3	0.66	13	3.39	5	9.80	5	10.33	13	5.80
瀬谷	9	0.56	18	2.62	11	8.55	16	7.63	15	5.53

注 全区の平均人数より上位の場合は赤い網掛け表示

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

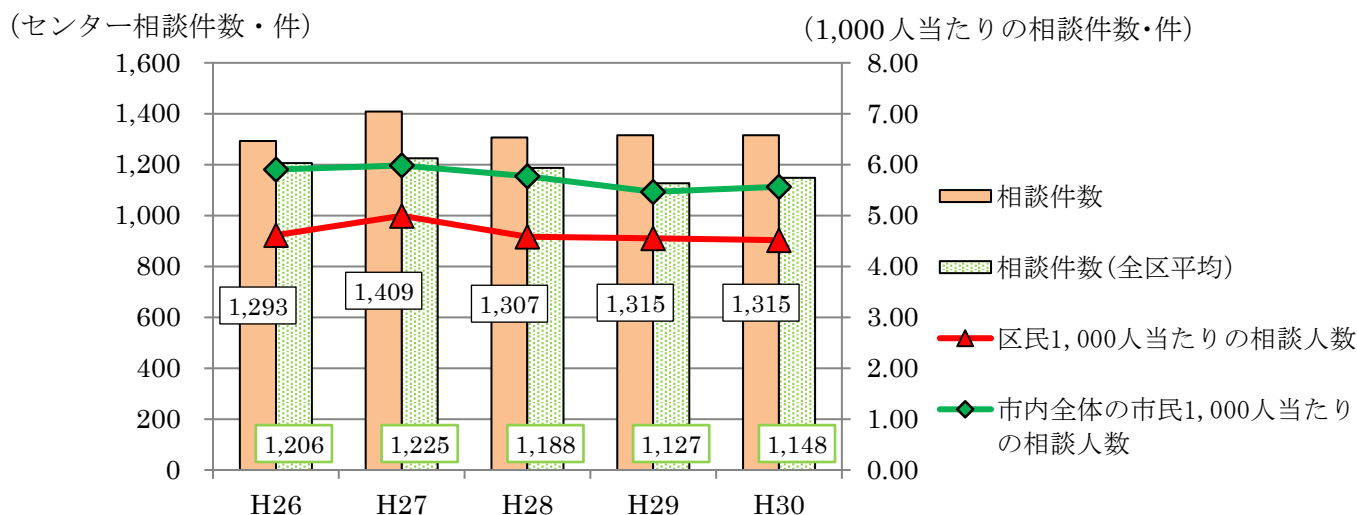
鶴 見 区

1,315 件

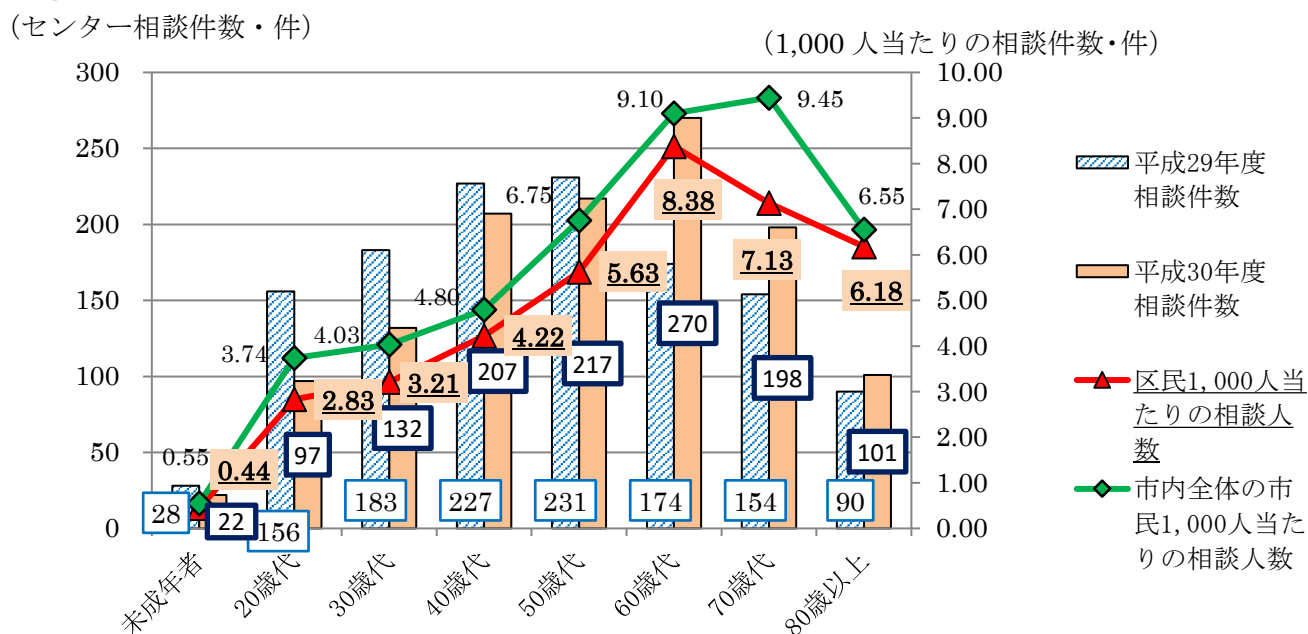
前年度比 ±0%

引き続き相談件数は全区平均より多いが、区民 1,000 人当たりでみると、全区平均より少ない。年代別では 60 歳代、70 歳代は前年より大幅に増えている。また、60 歳代では人口が減っているのに対して相談件数は増加している。増加の原因は架空請求はがきによる。

① 5 年間の相談件数の推移

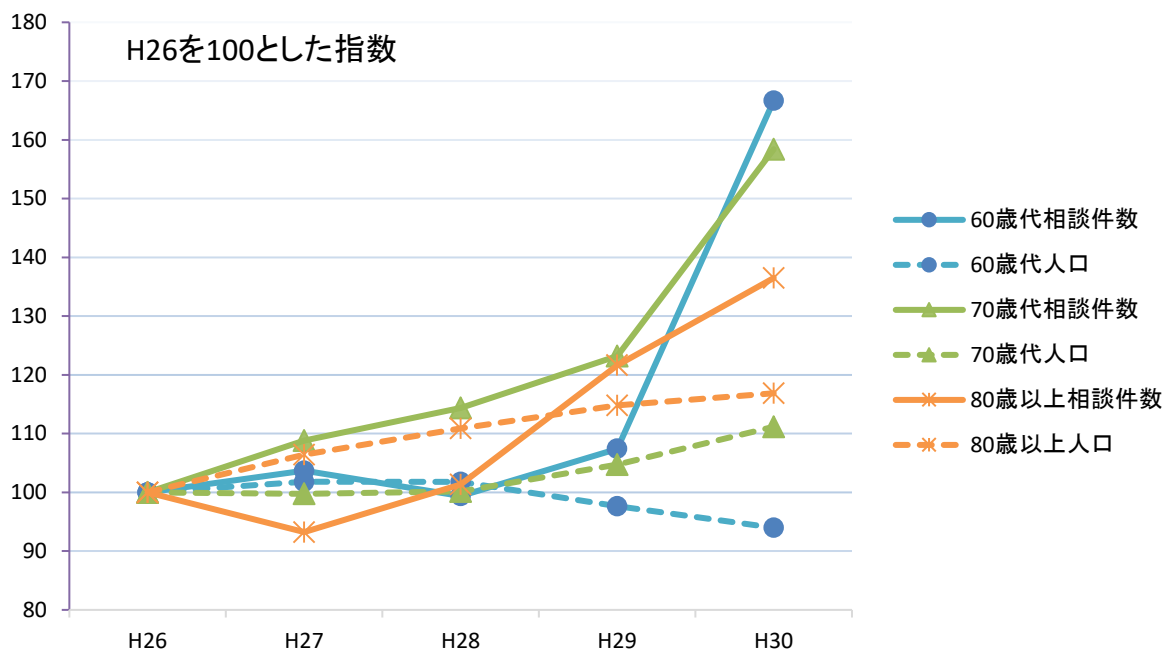


② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）



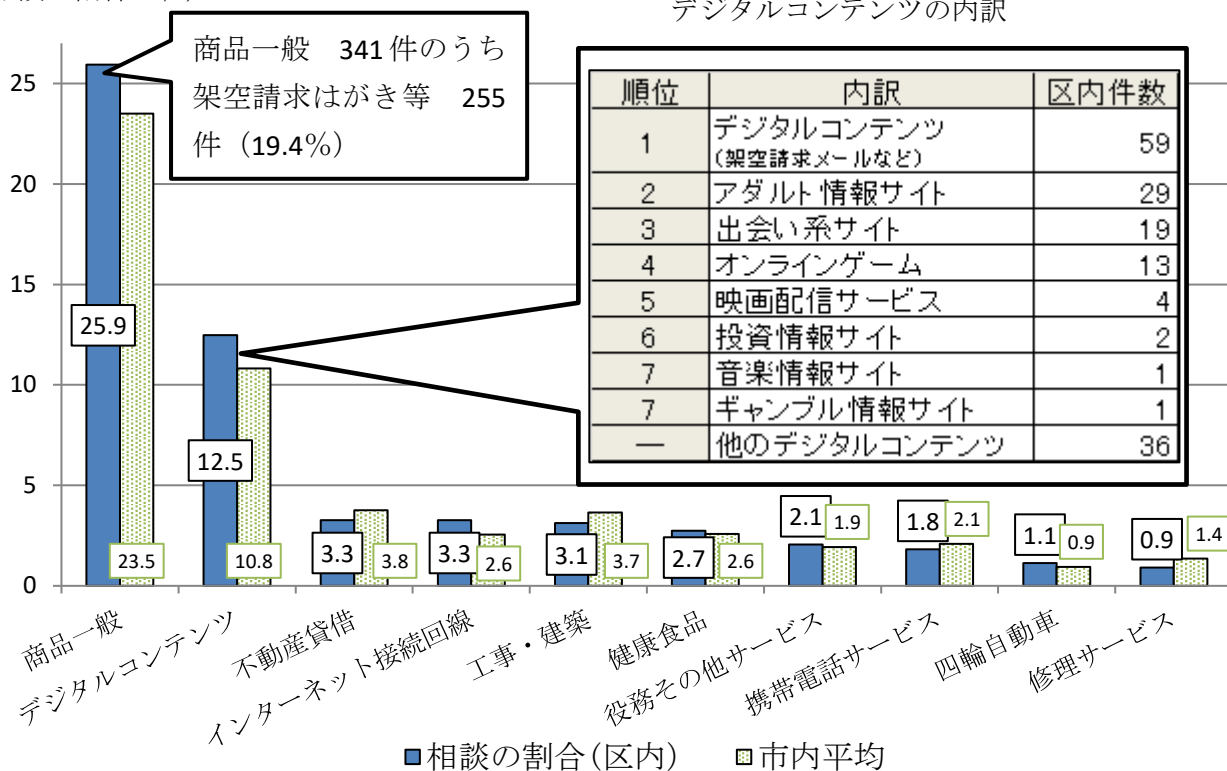
③ 高齢者の消費生活相談と人口推移

鶴見区



④ 商品・役務別上位 10 位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

神奈川区

1,272 件

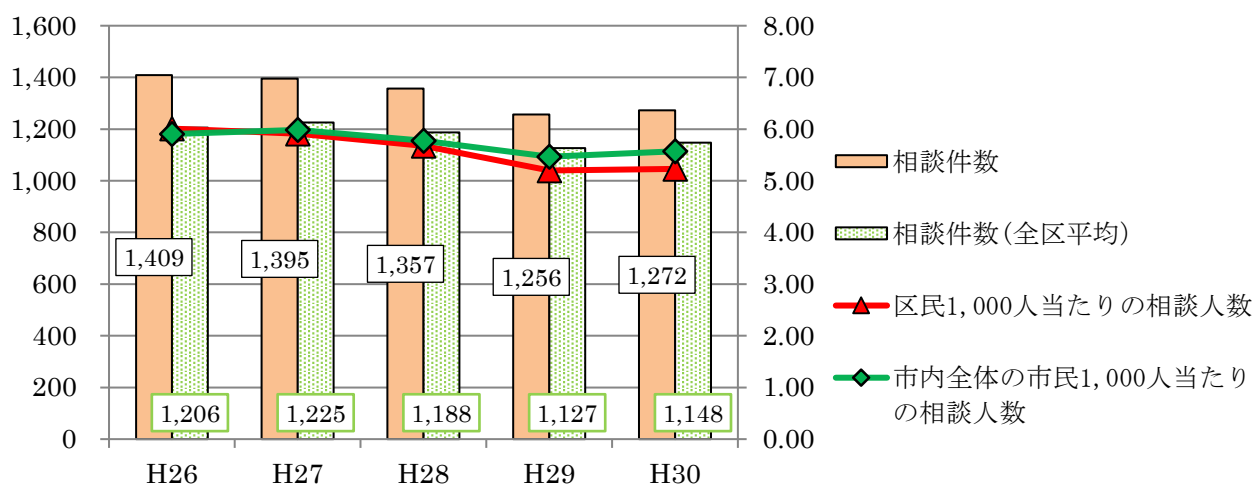
前年度比 **+1.3%**

相談件数は全区平均と比べて多いが、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると、ほぼ平均と同様に推移している。年代別では 20 歳代の区民 1000 人あたりの相談数が 4.25 人で 18 区中 3 位となっていて、60 歳代、70 歳代は前年より相談数が大幅に増えている。また、60 歳代は人口が減っているのに対して相談件数は増加している。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

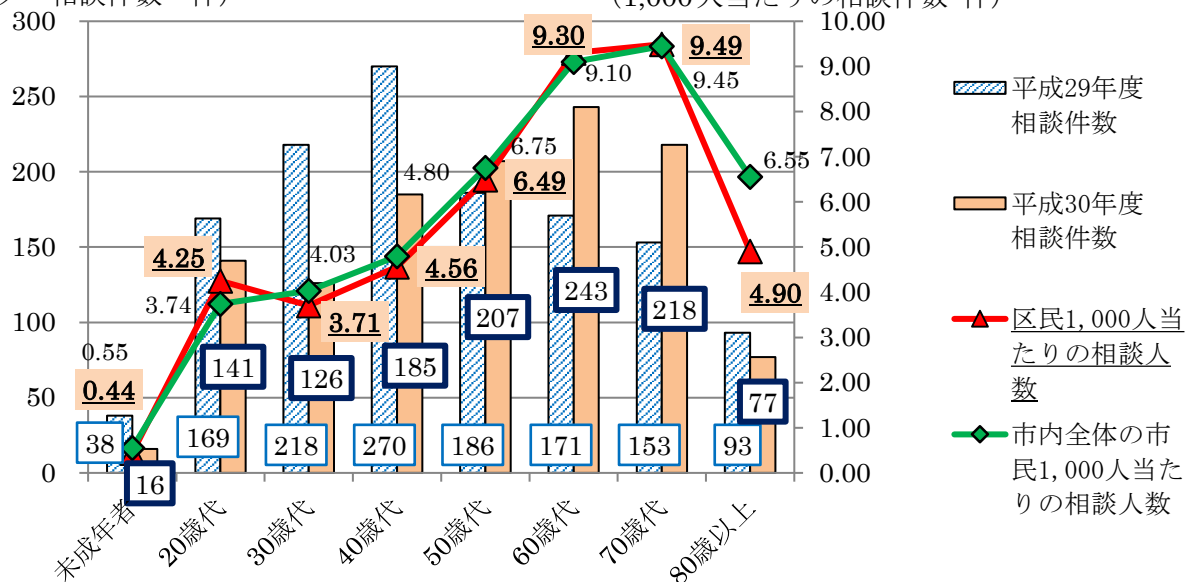
(1,000 人当たりの相談件数・件)



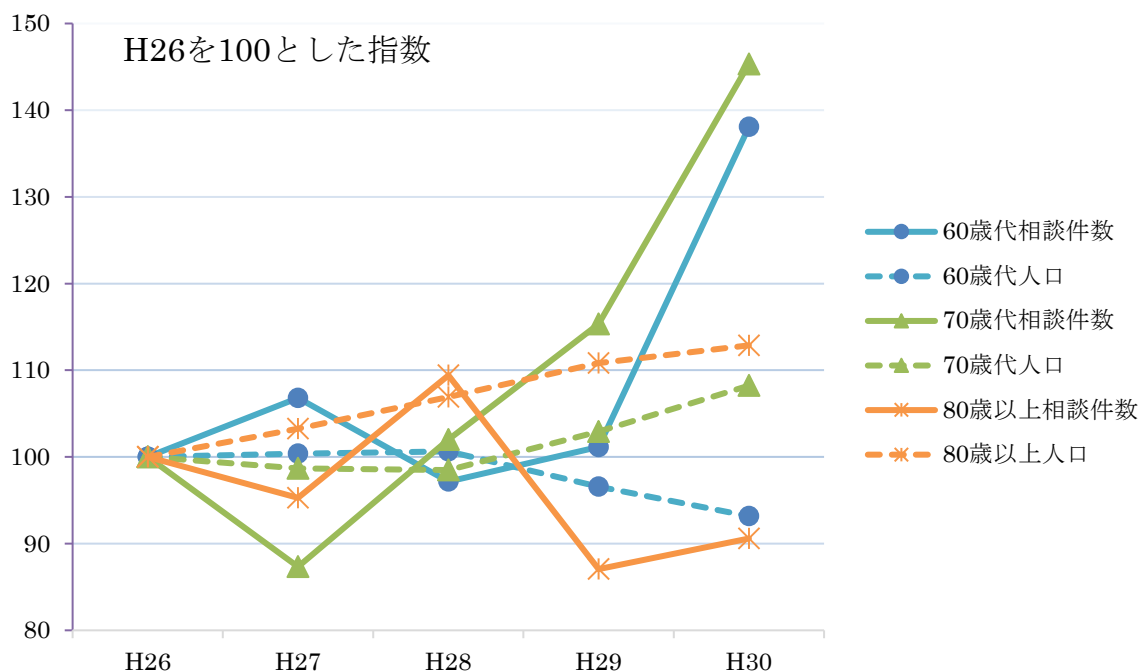
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

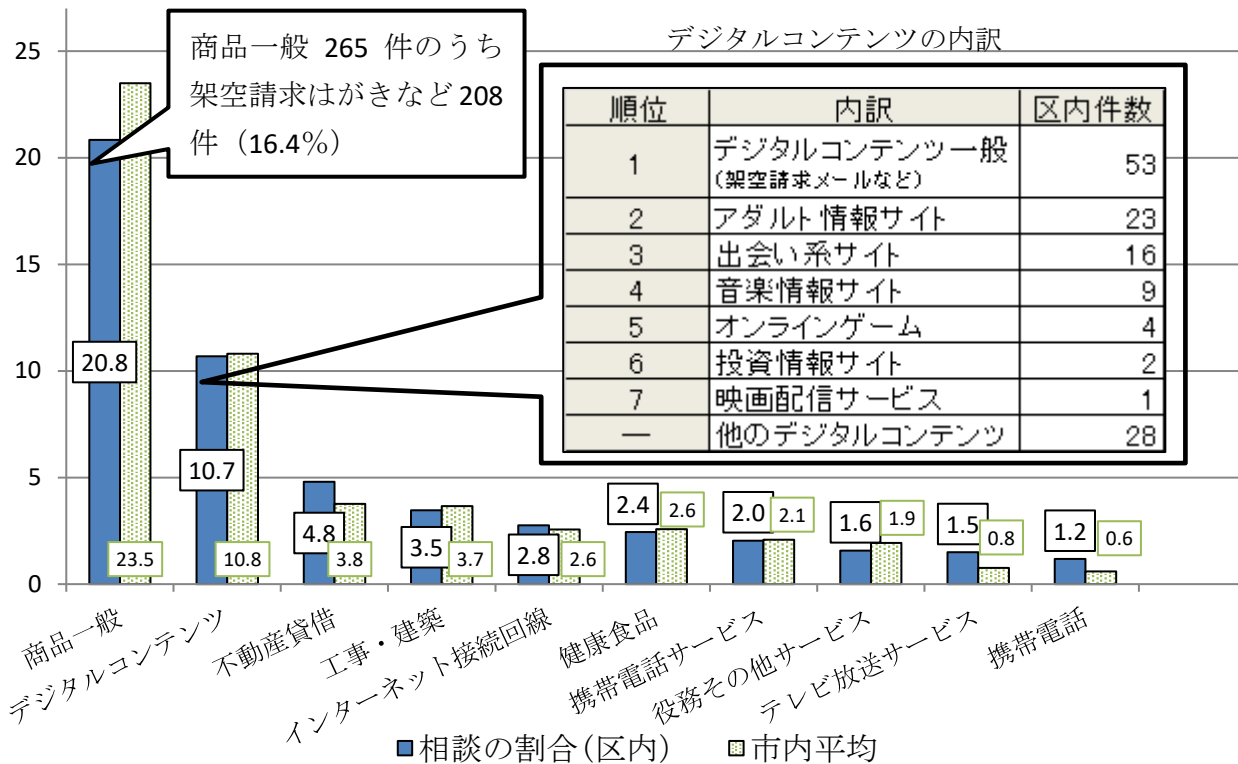
(1,000 人当たりの相談件数・件)



③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位 (相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

西 区

528 件

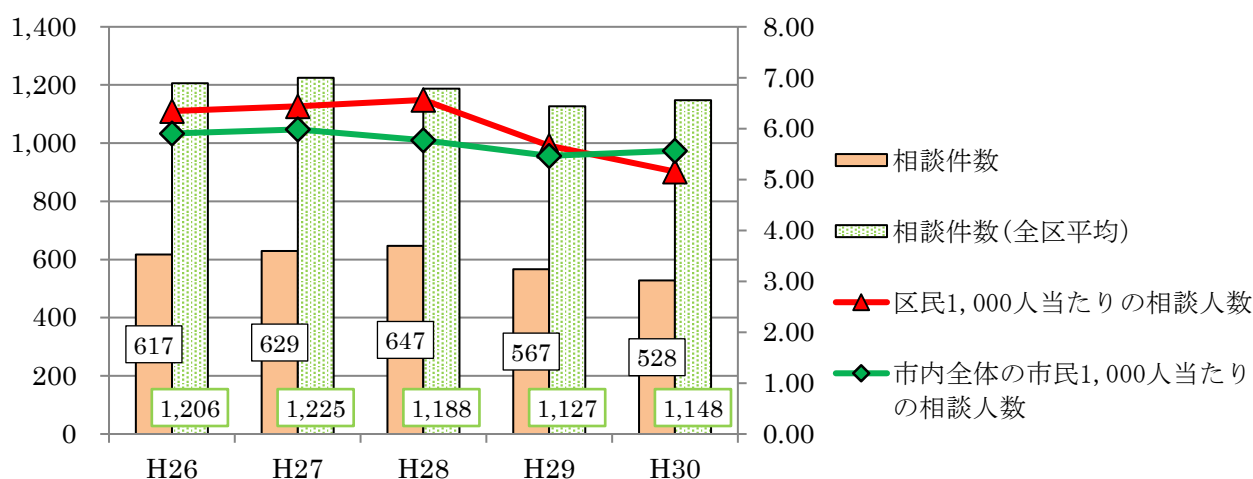
前年度比 ▲6.9%

相談件数は、全区平均に比べ少なく、前年度比 6.9%減少した。区民 1,000 人当たりの相談人数でみると、H29 までは平均より上位に推移しているが、H30 年度は平均より下回った。年代別では 70 歳代、80 歳代は前年より相談件数が増えている。増加の原因としては架空請求はがきによる。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

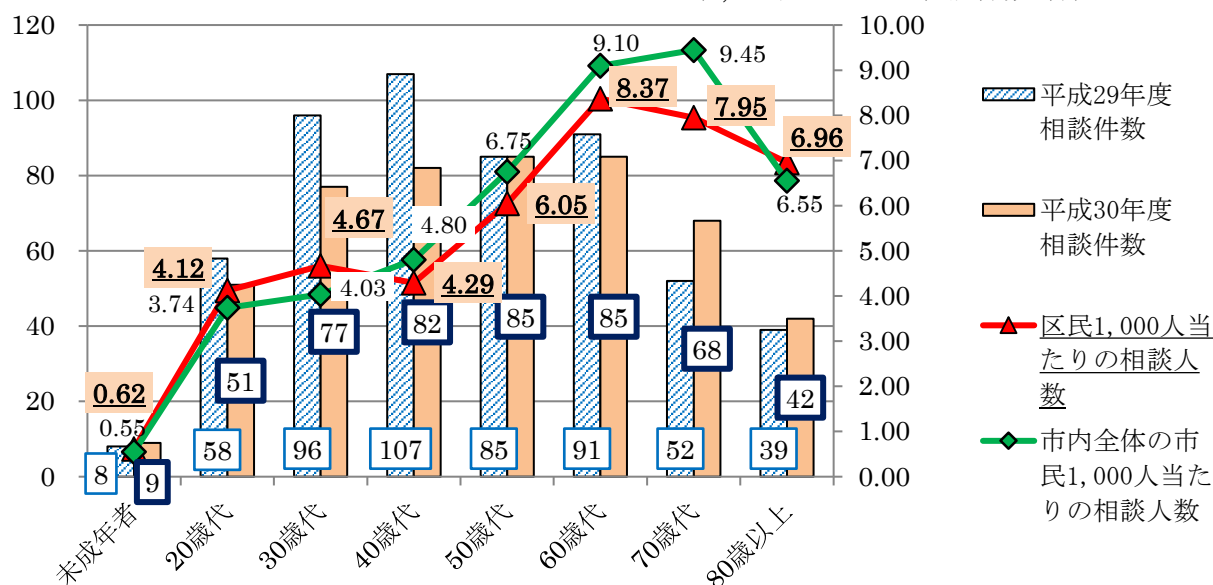
(1,000 人当たりの相談件数・件)



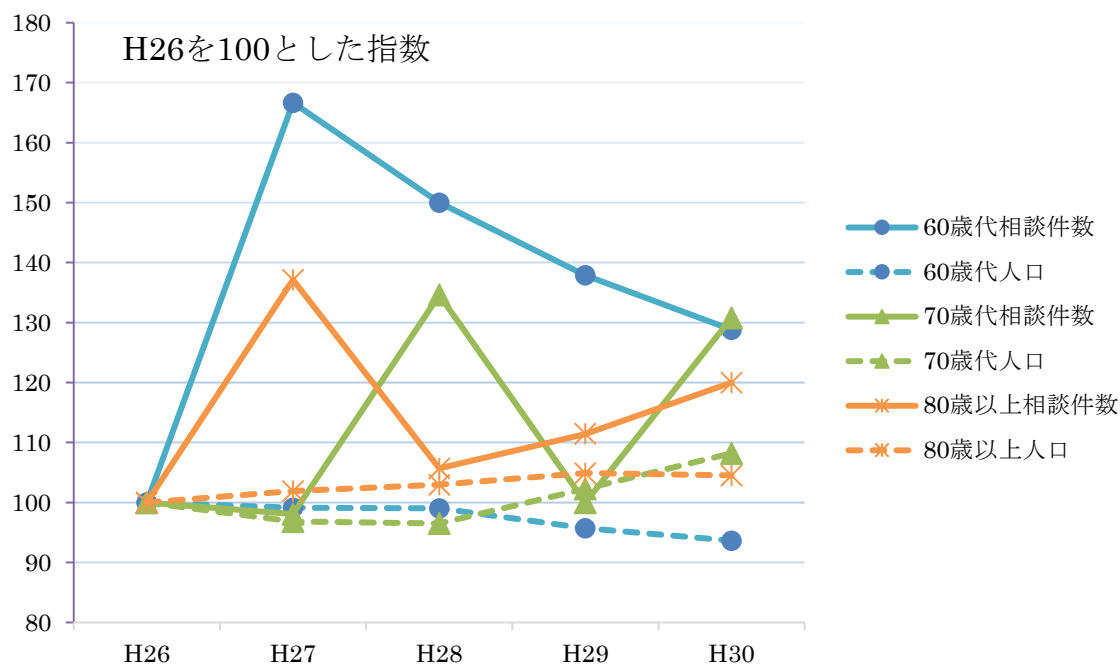
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

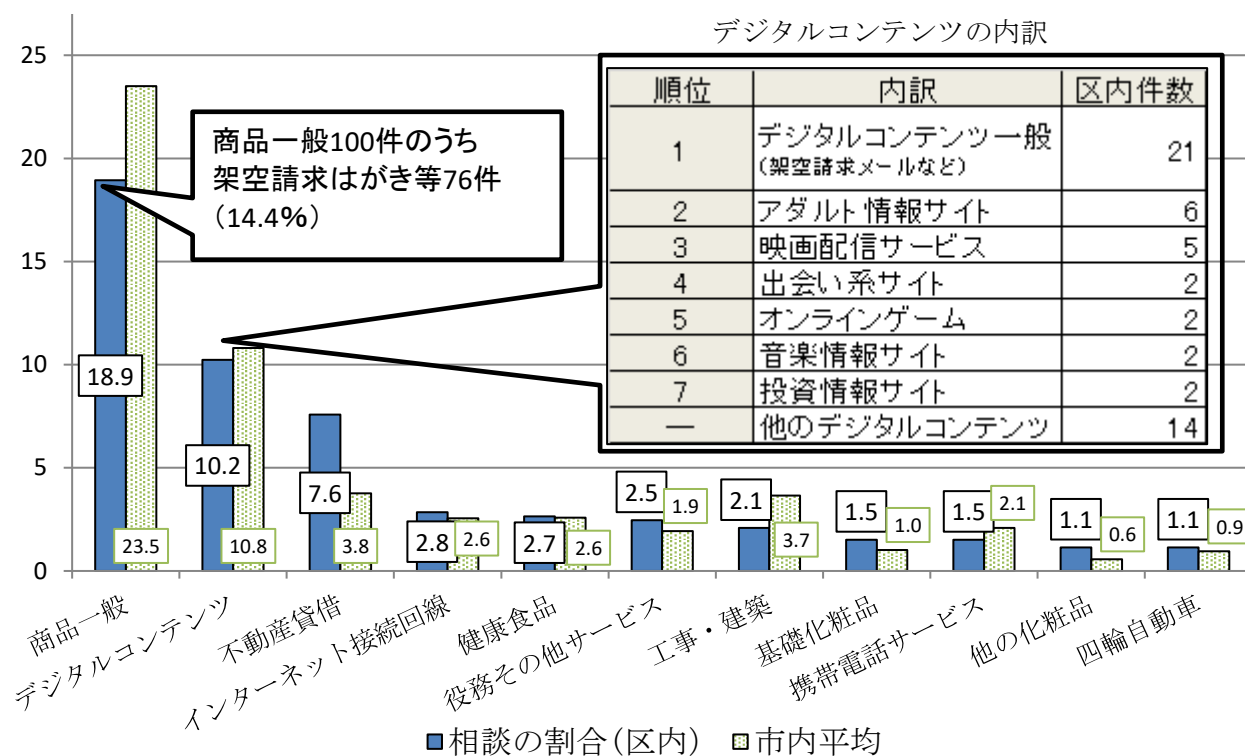
(1,000 人当たりの相談件数・件)



③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位 10 位 (相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの
 注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

中 区

837 件

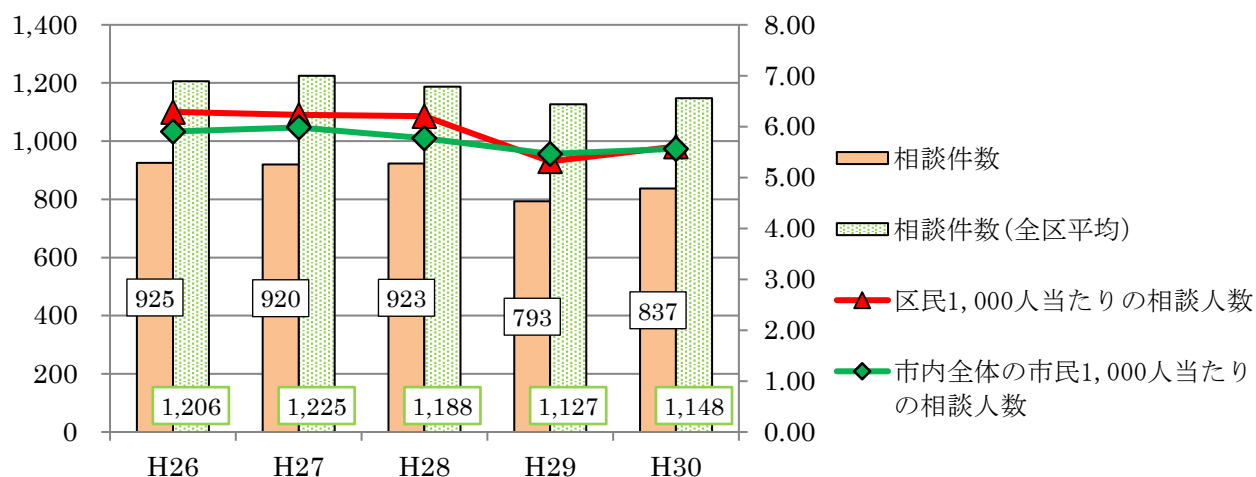
前年度比 +5.5%

相談件数は、H30 年度は前年度比 5.5%増加した。年代別でみると 50 歳代以上は前年より増えている。また、60 歳代では人口が減っているのに対して相談件数は増加している。増加の原因は架空請求はがきによる。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

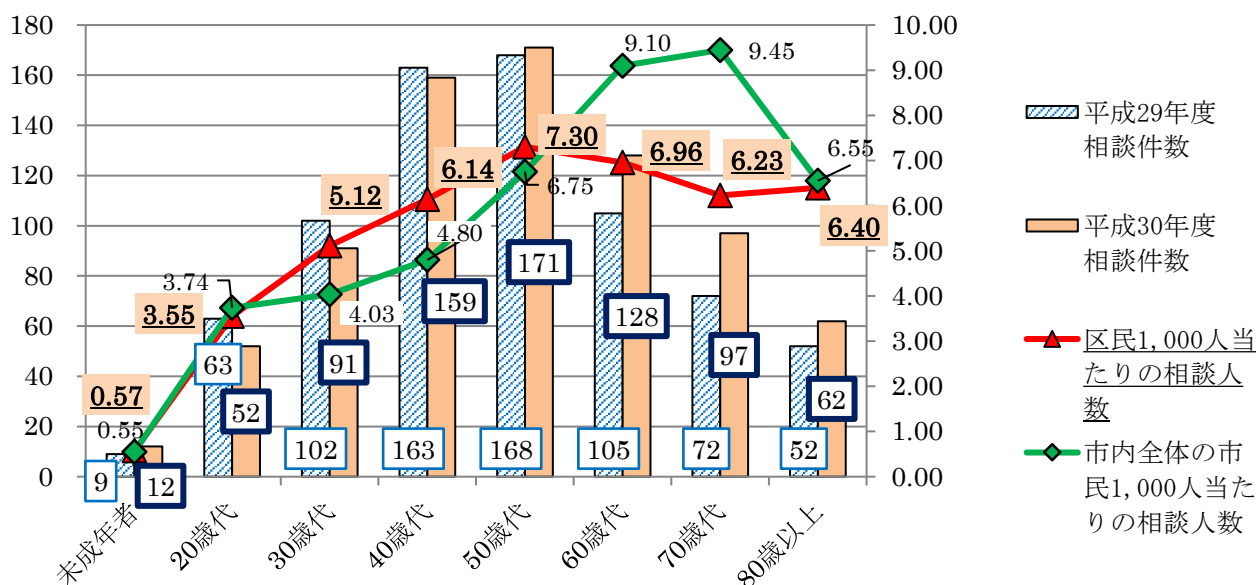
(1,000 人当たりの相談件数・件)



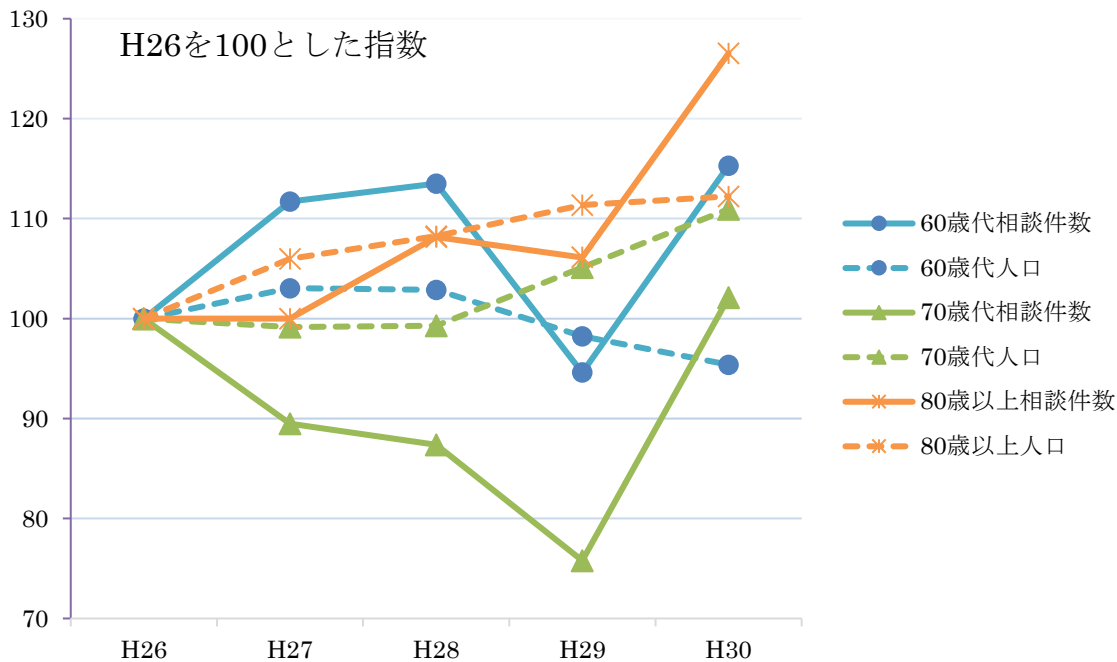
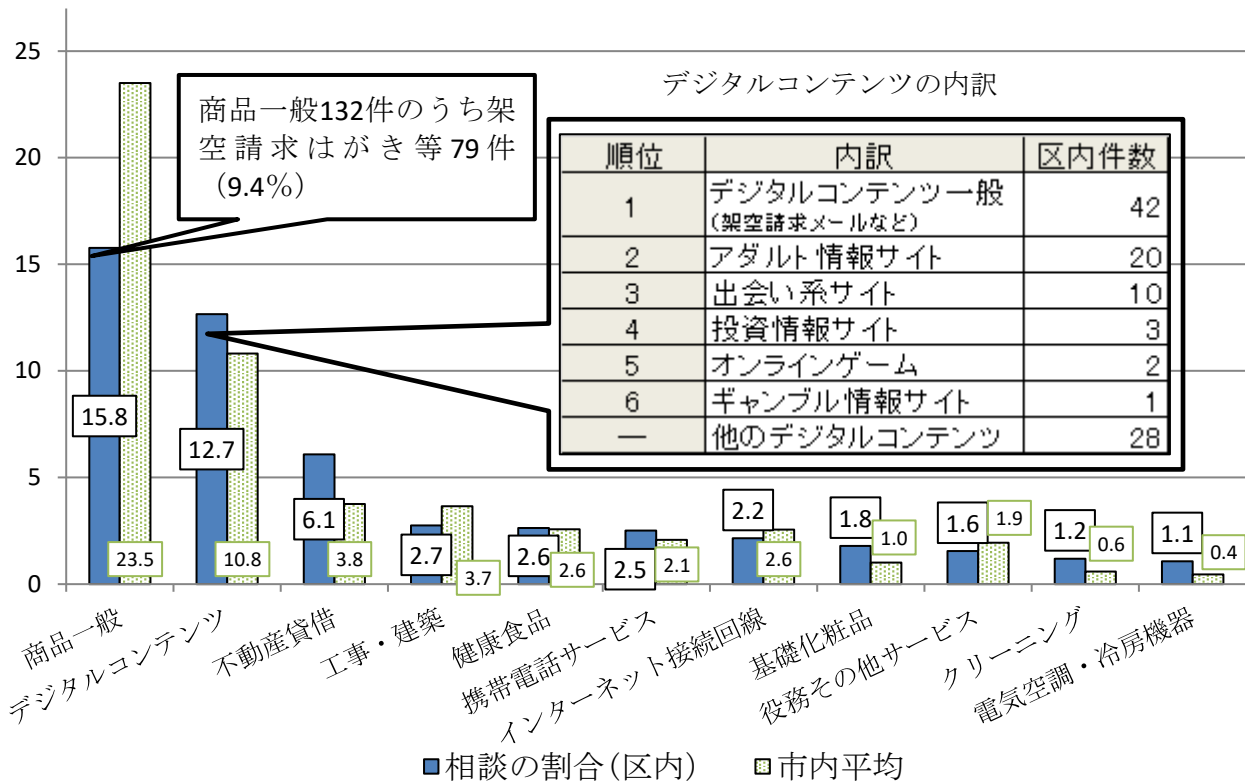
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)



③ 高齢者の消費生活相談と人口推移

④ 商品・役務別上位10位
(相談の割合・%)

注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

南 区

1,318 件

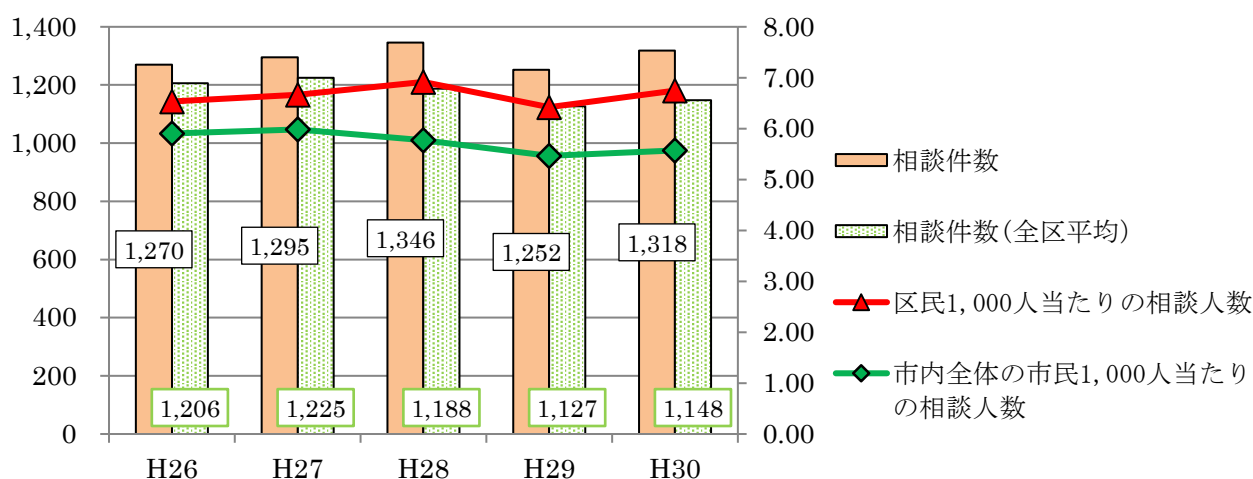
前年度比 +5.3%

相談件数は全区平均より多く、区民 1,000 人当たりでみると特に 18 区中 2 位になっている。年代別では、20 歳代の 1000 人あたりの相談人数 4.71 人は 18 区中 1 位となっている。また、60 歳代の 10.93 人は 2 位、70 歳代は 4 位、80 歳以上は 3 位と、かなり多く注意が必要である。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

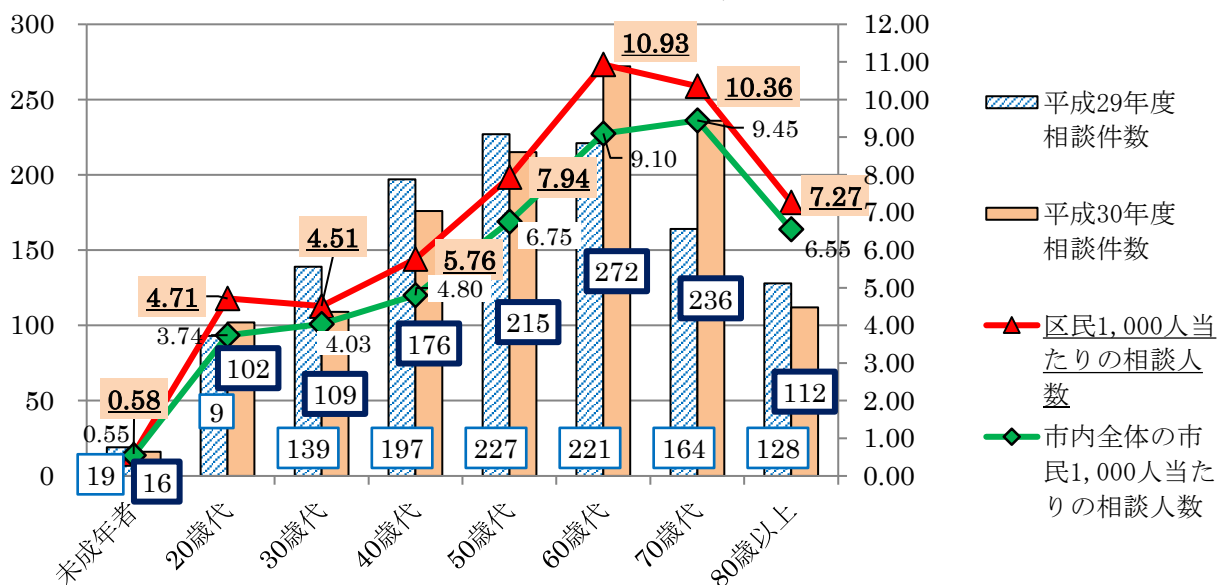
(1,000 人当たりの相談件数・件)



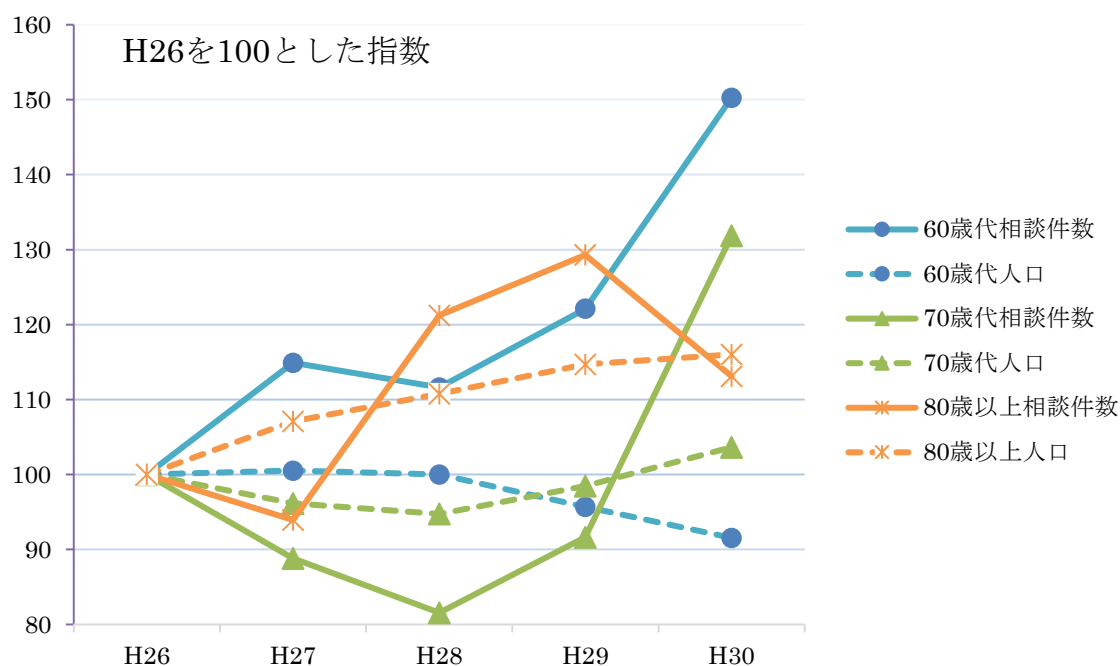
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

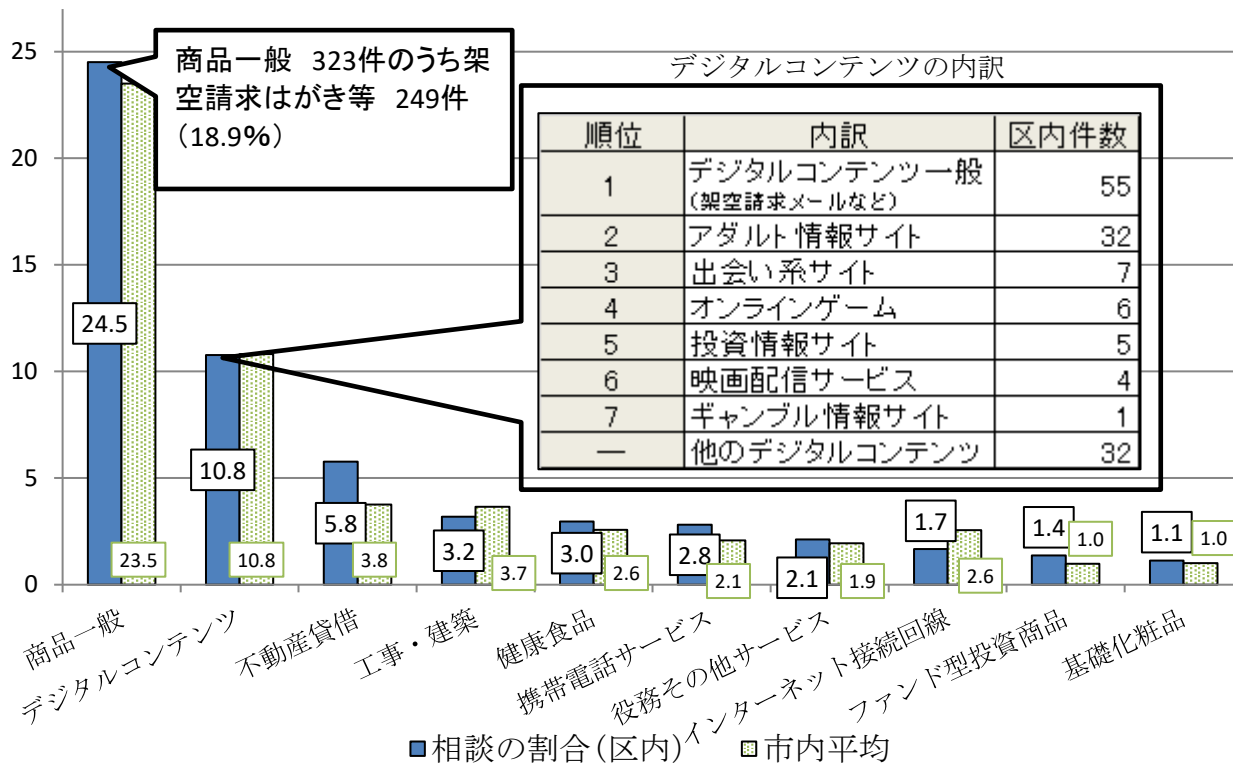


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの
 注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

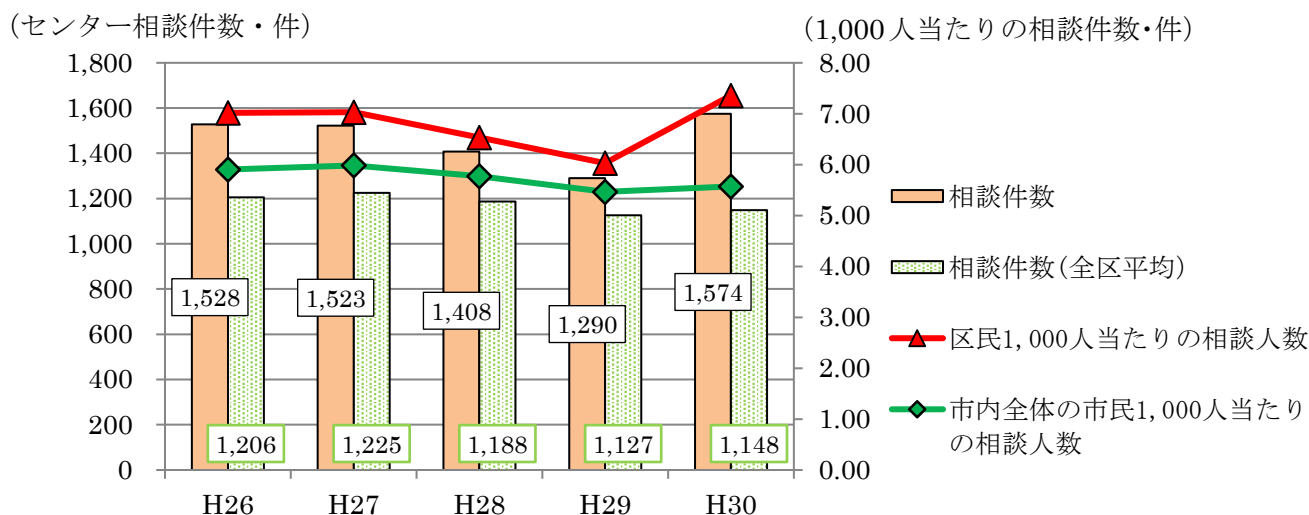
港 南 区

1,574 件

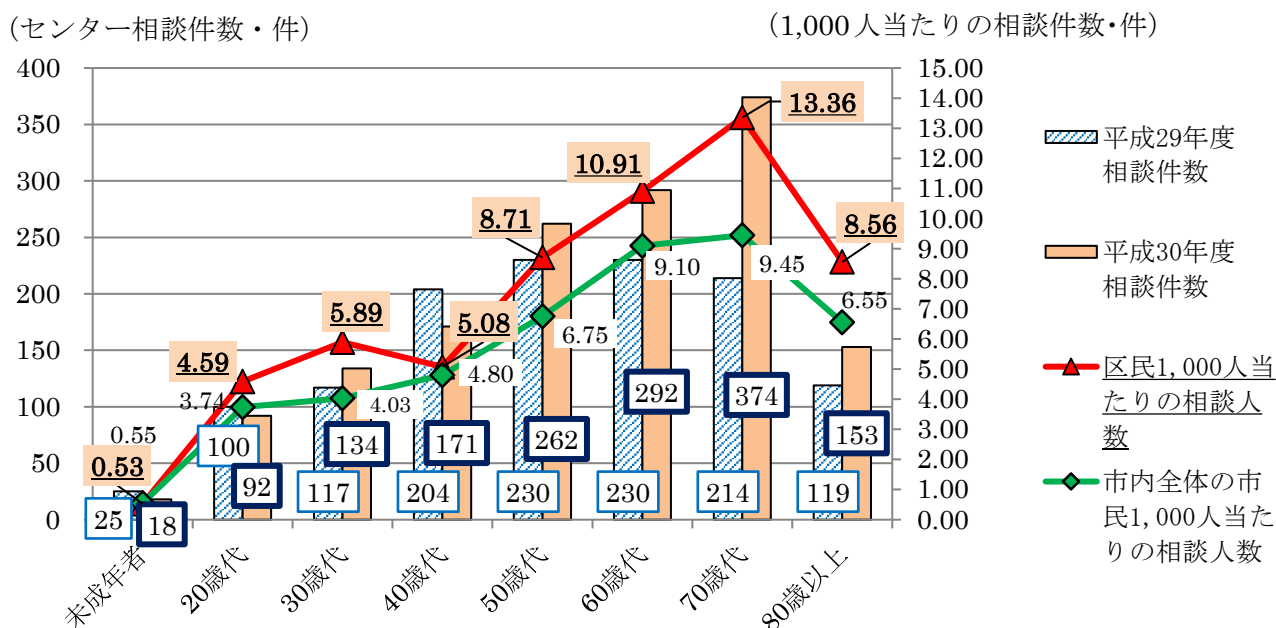
前年度比 +22.0%

相談件数は前年と比べ 22%増加し、5 年連続で全区平均を上回り、特に、区民 1,000 人当たりの相談人数は全市で 1 位となっている。年代別では、20 歳代の 1000 人あたりの相談人数 4.59 人は 18 区中 2 位となっている。また、60 歳代の 10.91 人は 18 区中 3 位、70 歳代の 13.36 人は 1 位、80 歳以上の 8.56 人は 1 位と、全年代で相談件数が多く注意が必要である。

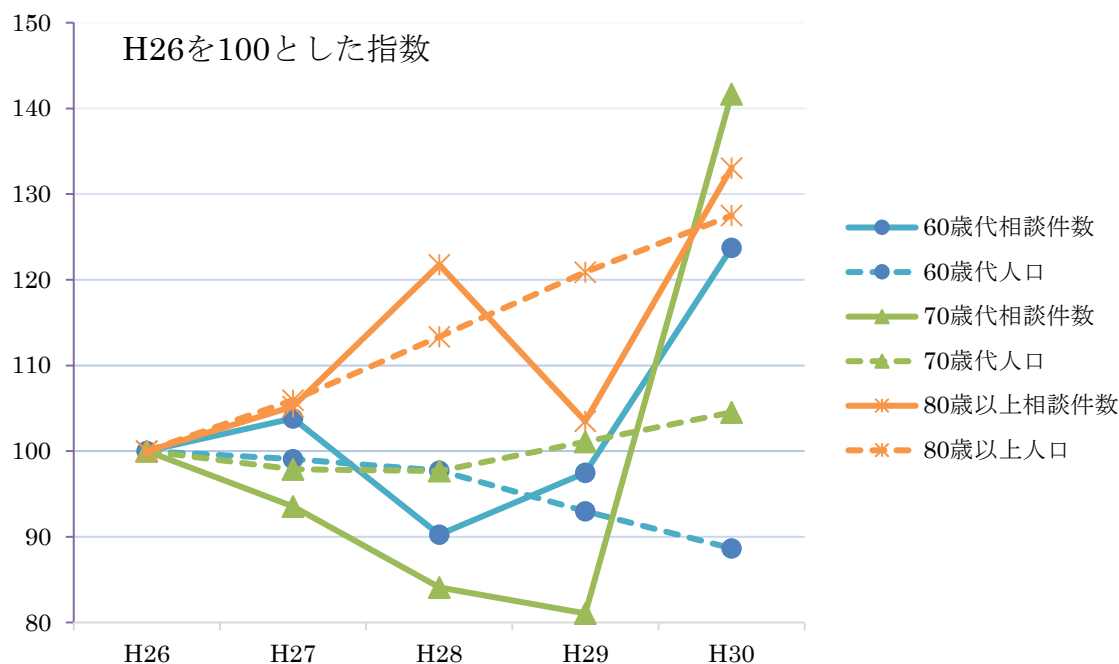
① 5 年間の相談件数の推移



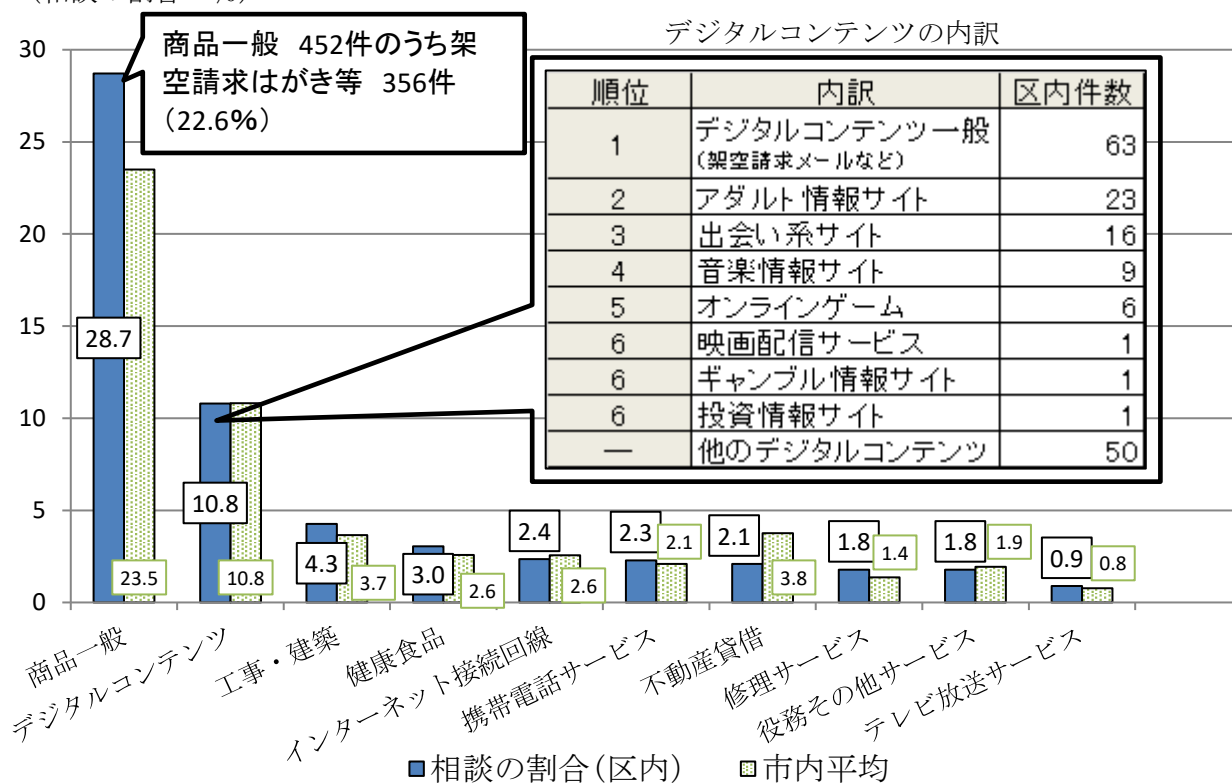
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）



③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位 (相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

保土ヶ谷区

1,156 件

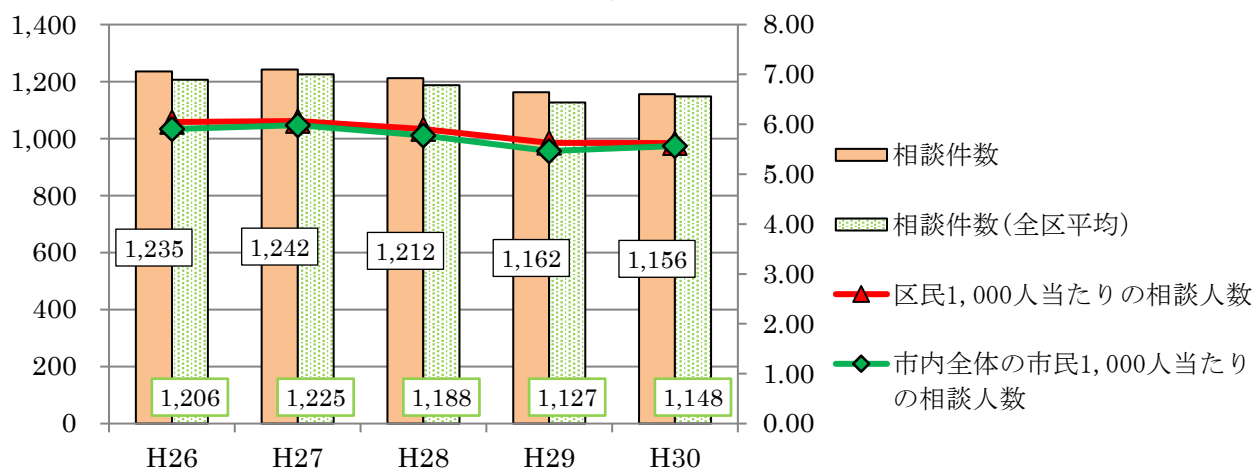
前年度比 **▲0.5%**

相談件数、区民 1,000 人当たりの相談人数はともに、ほぼ平均と同様に推移している。年代別では、60 歳代、70 歳代が前年度より大幅に増えている。また、60 歳代では人口が減っているのに対して相談件数は大幅に増加している。原因としては架空請求はがきによる。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

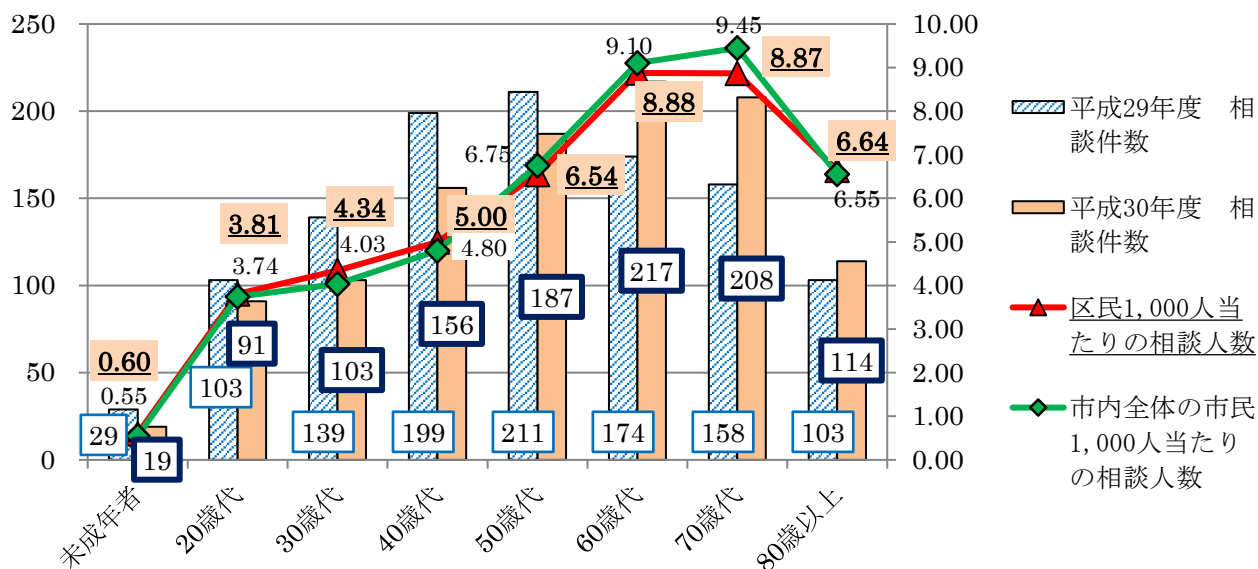
(1,000 人当たりの相談件数・件)



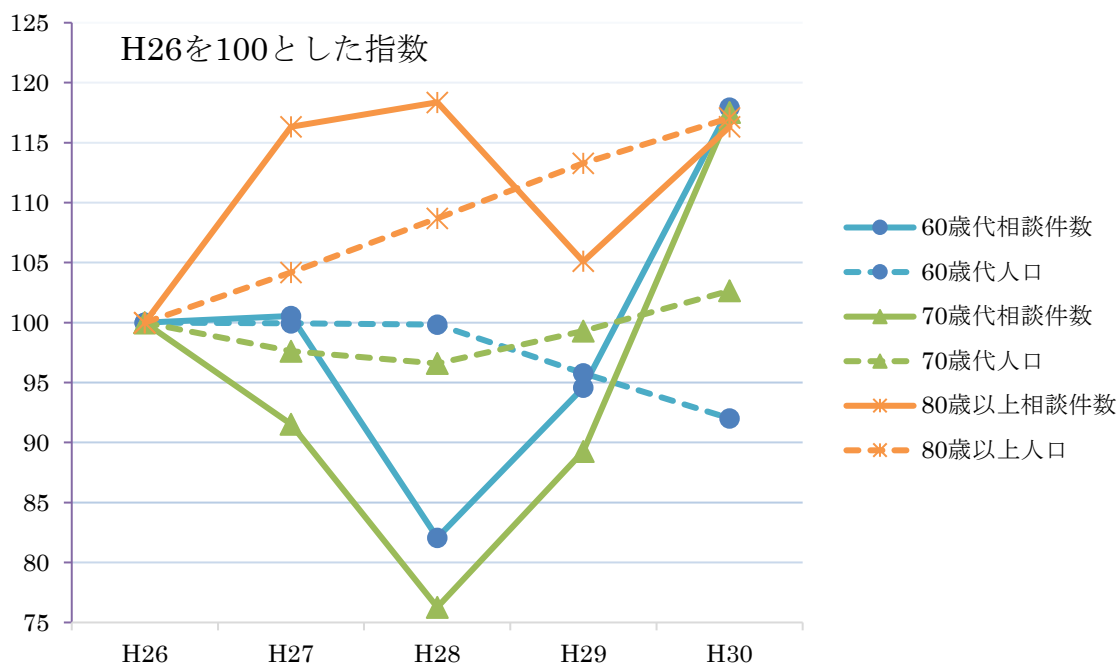
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

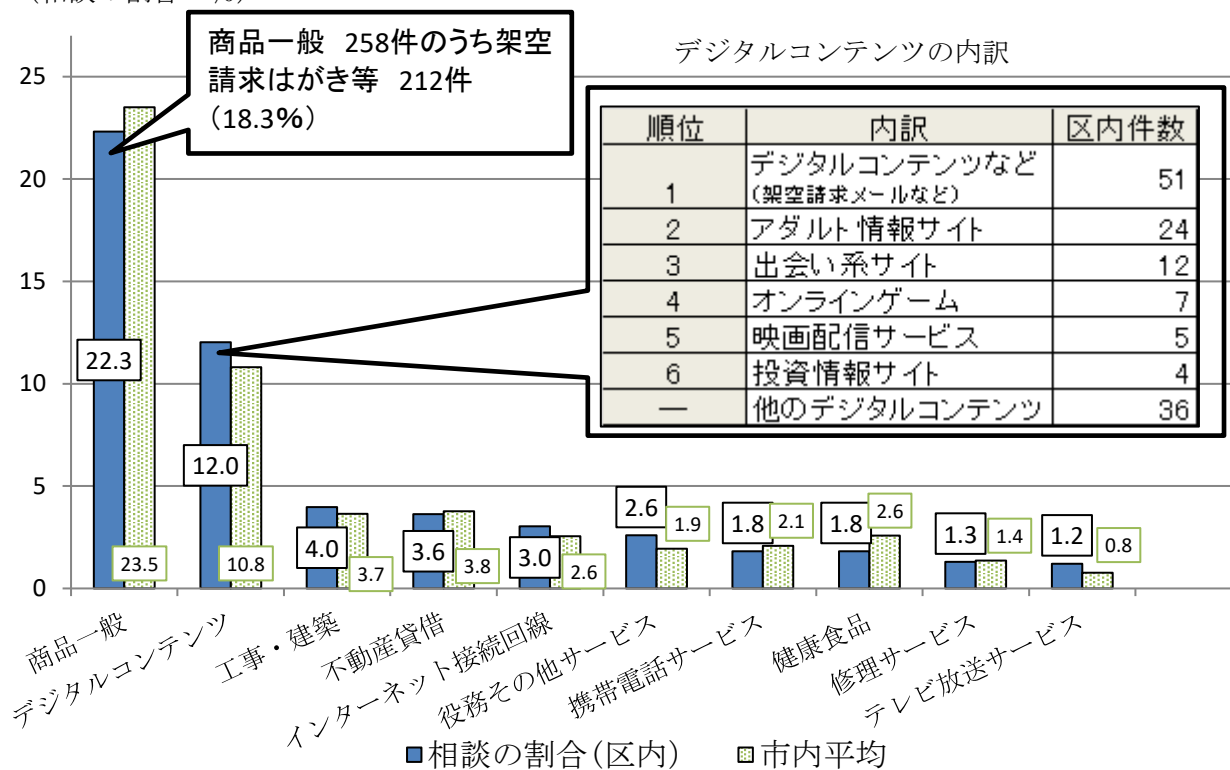


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

旭 区

1,449 件

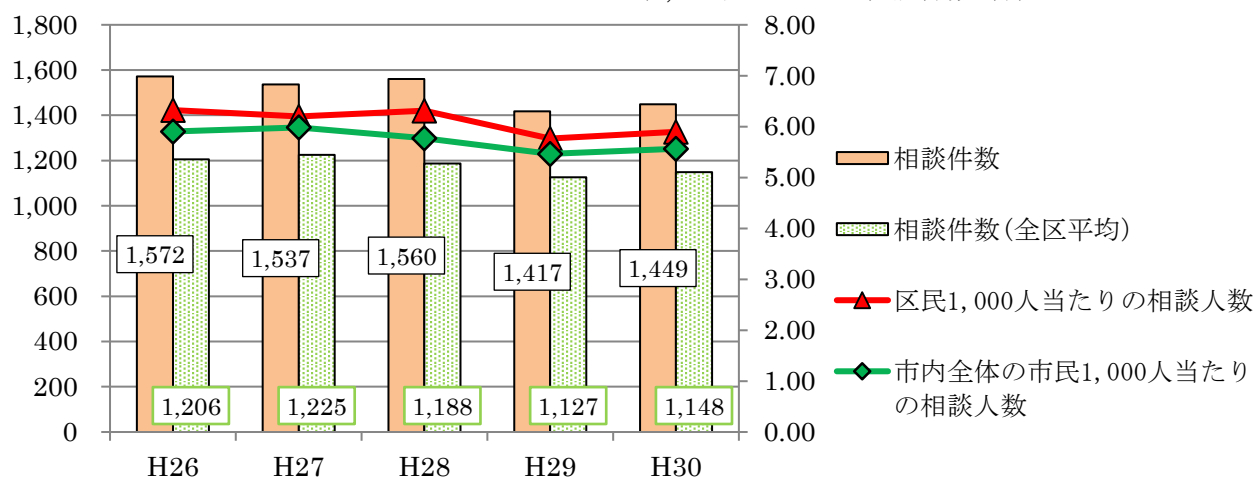
前年度比 +2.3%

相談件数は平均より多い。区民 1,000 人当たりの相談人数は、ほぼ平均と同様となっているが、年代別でみると、未成年者の 1000 人あたりの相談人数 0.78 人は 18 区中 1 位となっている。60 歳代以上は前年より相談件数が増えている。特に、60 歳代では人口が減っているのに対して相談件数は増加している。原因は架空請求はがきである。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

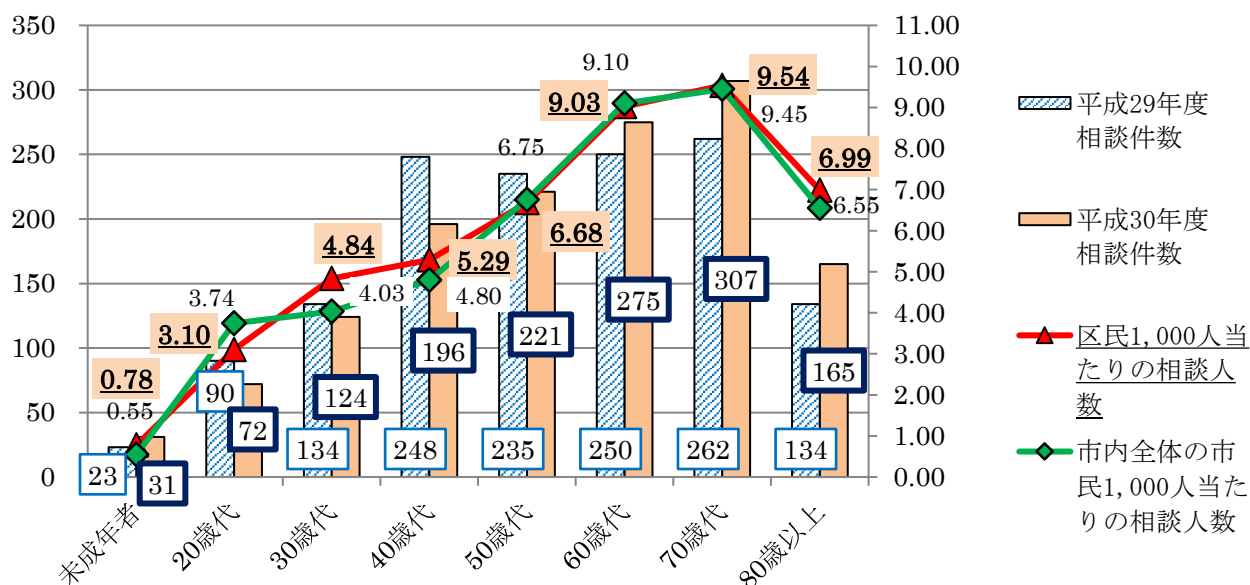
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

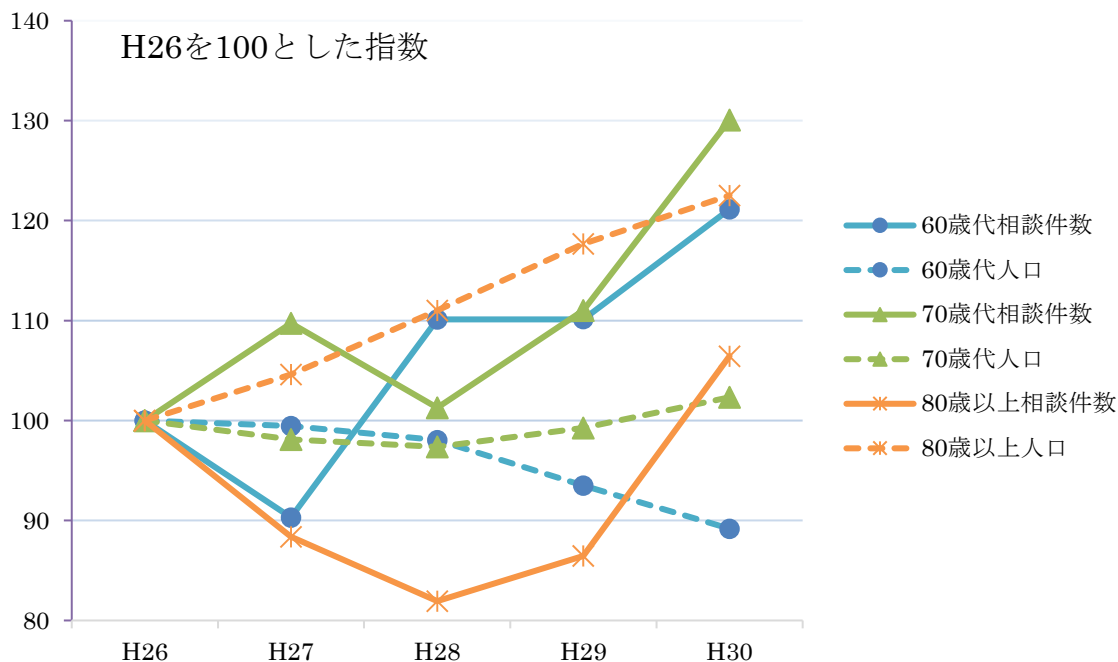
(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)



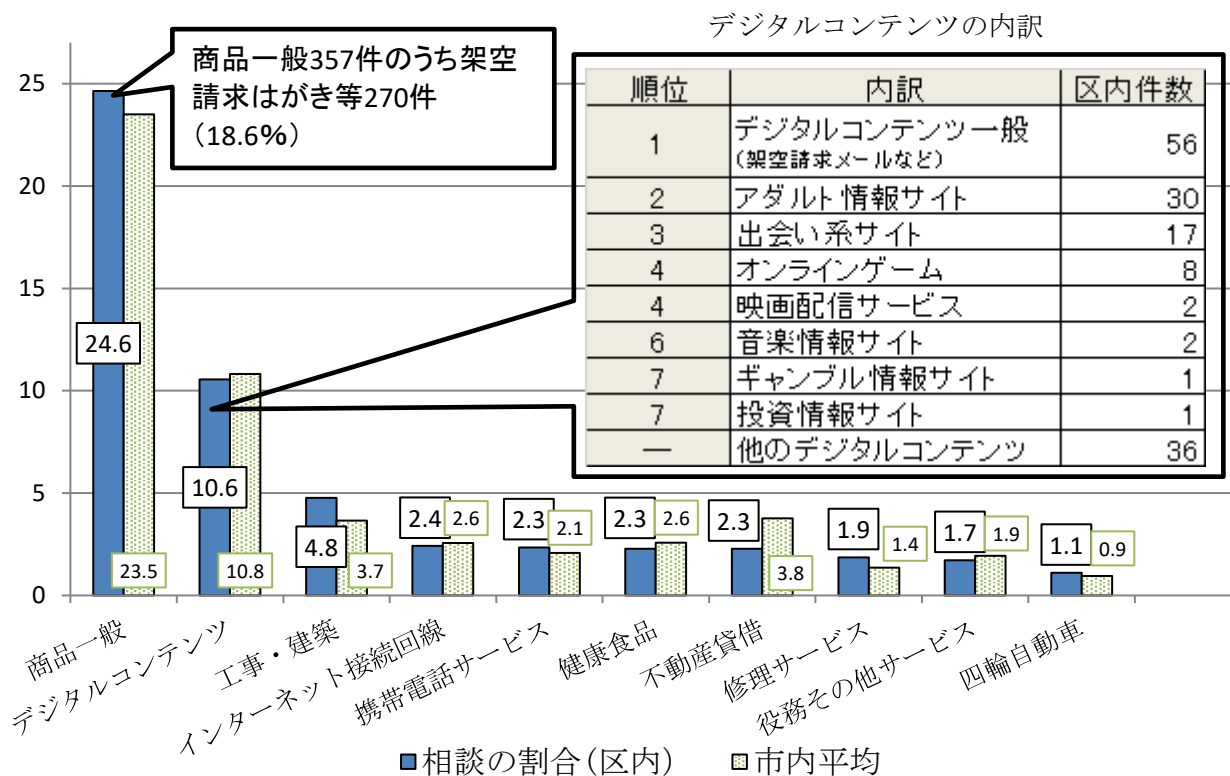
③ 高齢者の消費生活相談と人口推移

旭 区



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食宅宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

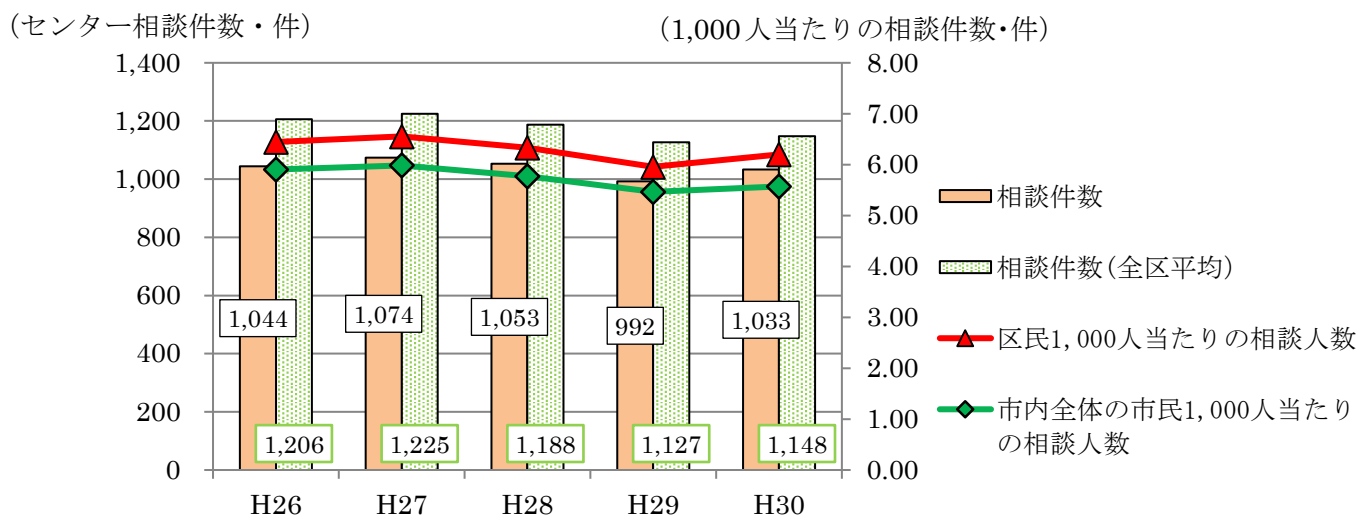
磯子区

1033 件

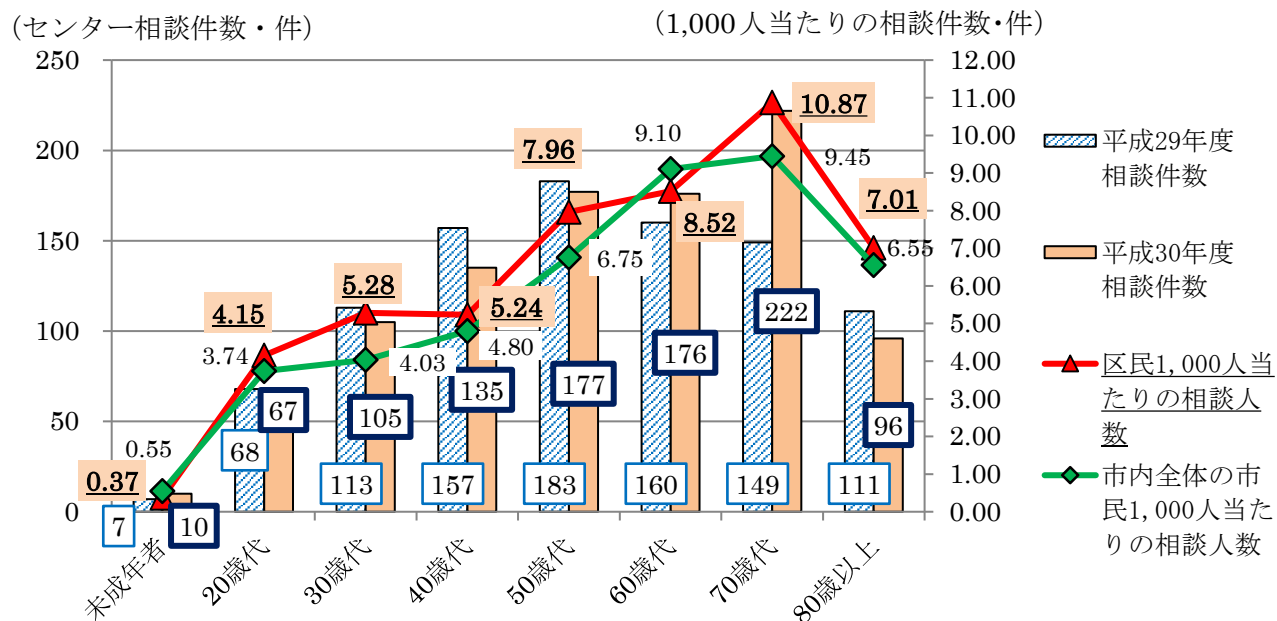
前年度比 **+4.1%**

相談件数自体は全区平均より少ないものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると 5 年連続で平均を上回っている。年代別では未成年者は 1,000 人あたり相談人数 0.37 人は 18 区中減少、70 歳代の 10.87 人は 18 区中 3 位、60 歳代、70 歳代で前年より相談件数が増えている。また、60 歳代では人口が減っているのに相談は増加しているが、原因は架空請求はがきによる。

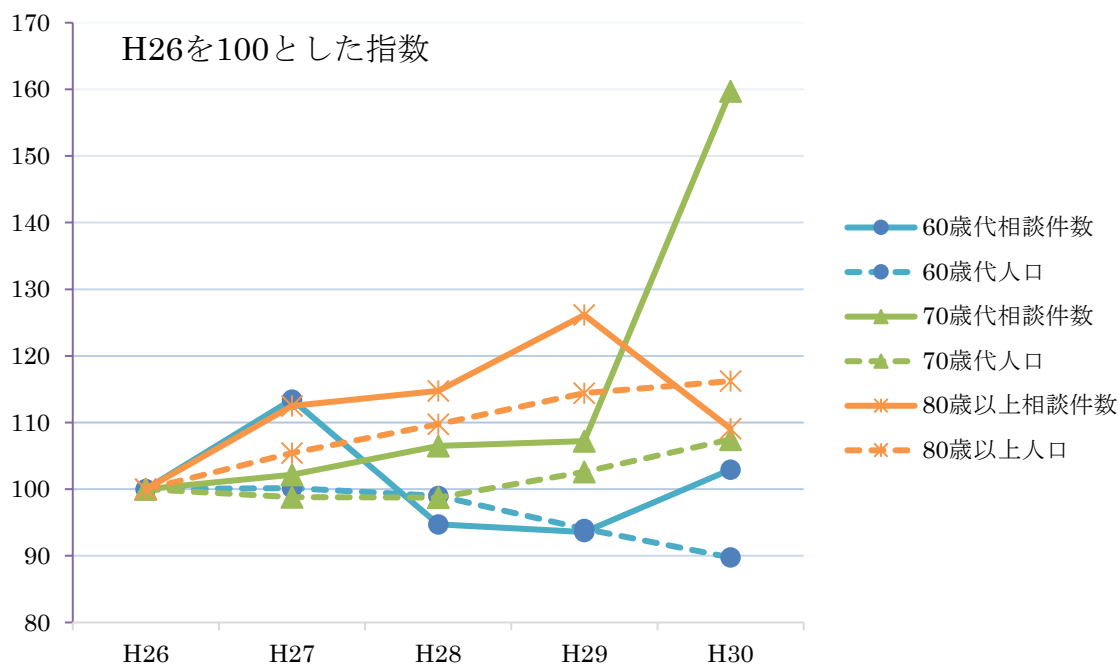
① 5 年間の相談件数の推移



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

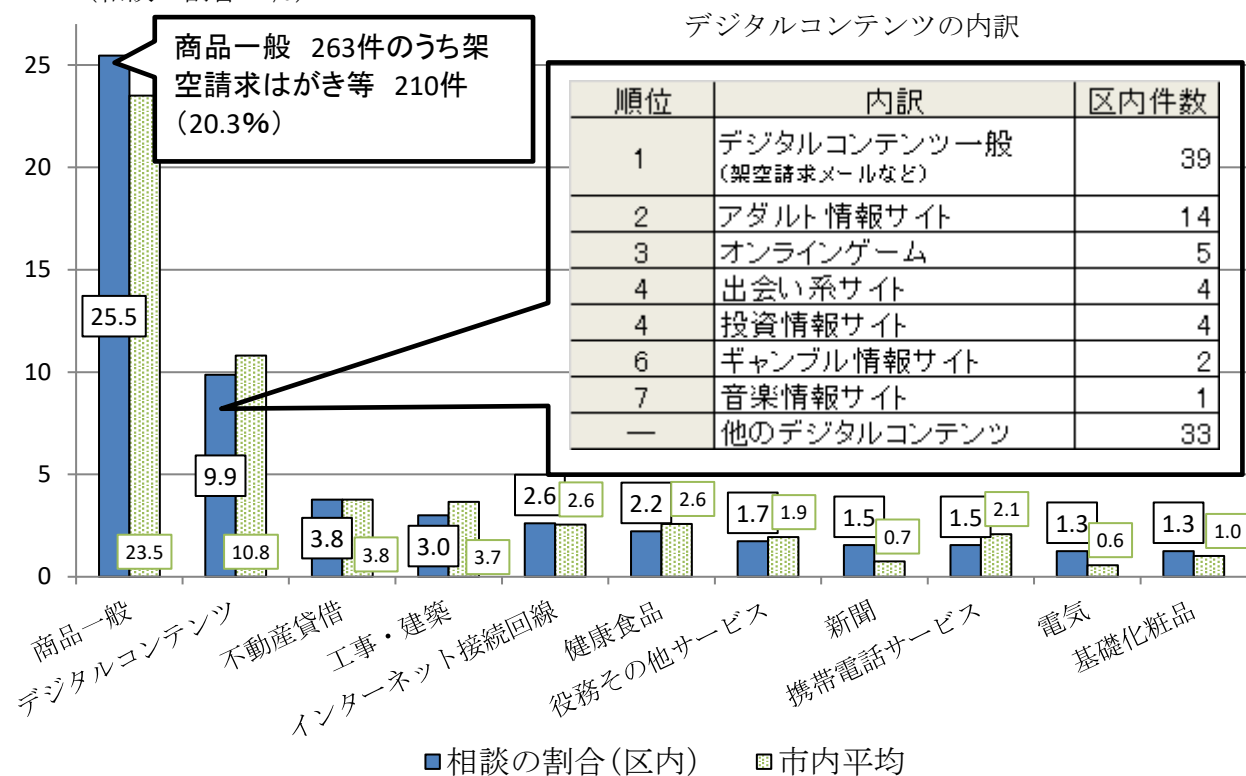


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

金 沢 区

1,131 件

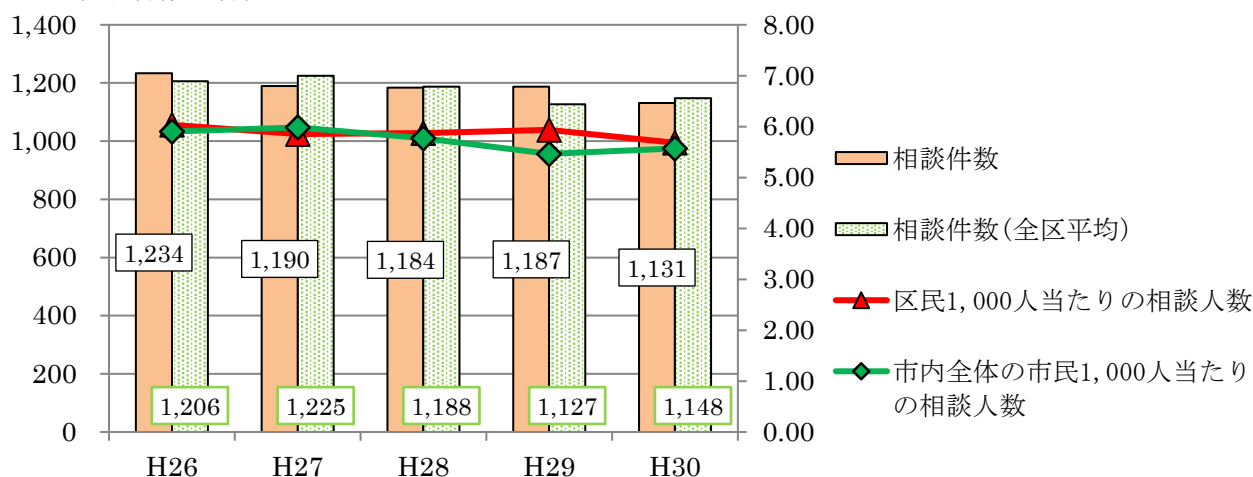
前年度比 ▲4.7%

相談件数、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると全区平均とほぼ同様に推移している。年代別では 80 歳以上の 1000 人あたりの相談人数 8.05 人は 18 区中 2 位、60 歳代以上の相談件数は前年より増えている。また、60 歳代では人口が減っているにもかかわらず増えており、70 歳代、80 歳以上の相談件数も人口の伸びを上回る増加である。原因は架空請求はがきによる。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

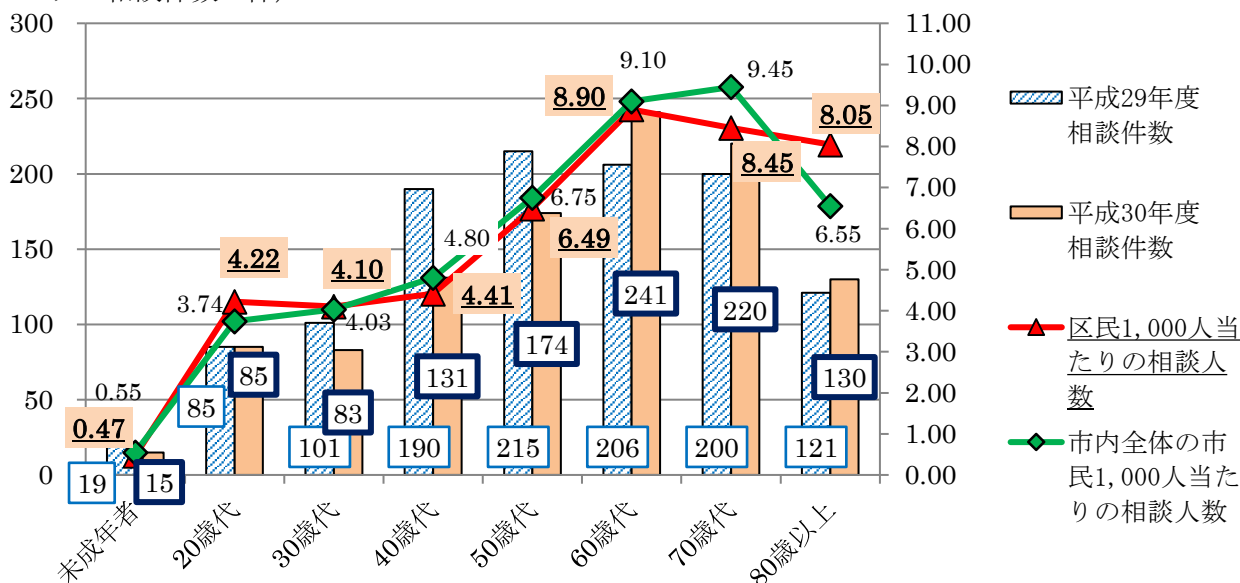
(1,000 人当たりの相談件数・件)



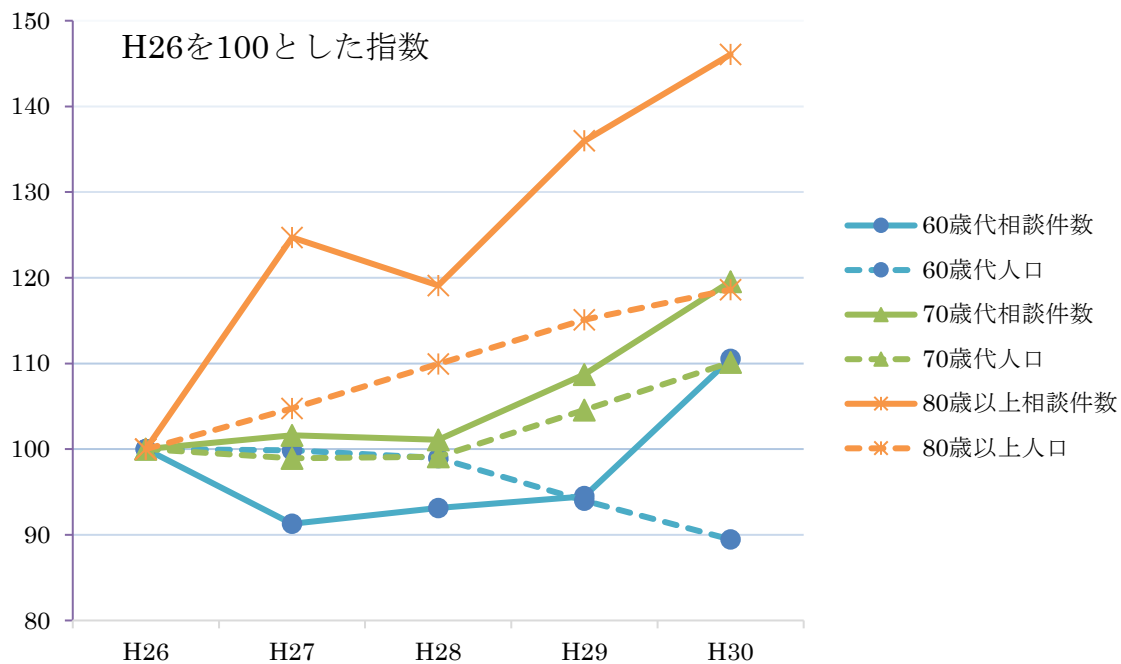
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

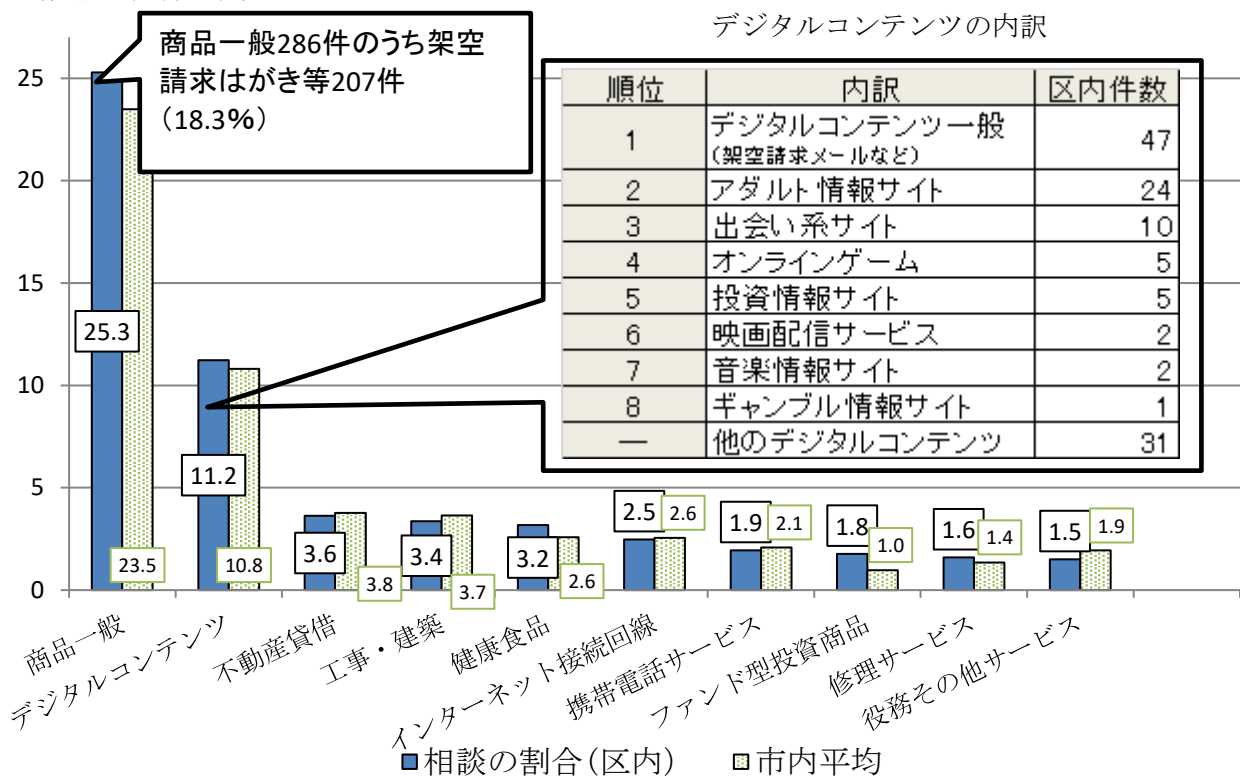


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

港 北 区

1,847 件

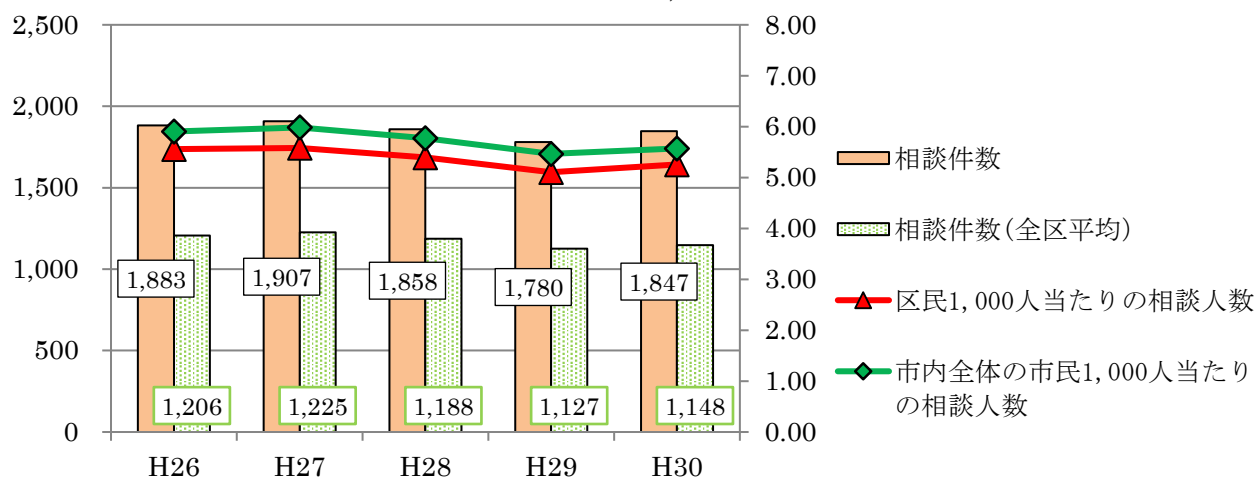
前年度比 +3.8%

相談件数自体は全区平均より多いものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると全区平均を 5 年連続で下回る。年代別では、未成年者の 1000 人あたりの相談人数 0.73 人は 18 区中 2 位となっており、60 歳以上の相談件数は前年より大幅に増えている。また、60 歳代は人口が減っているのに対して相談件数は増加している。架空請求はがきが原因である。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

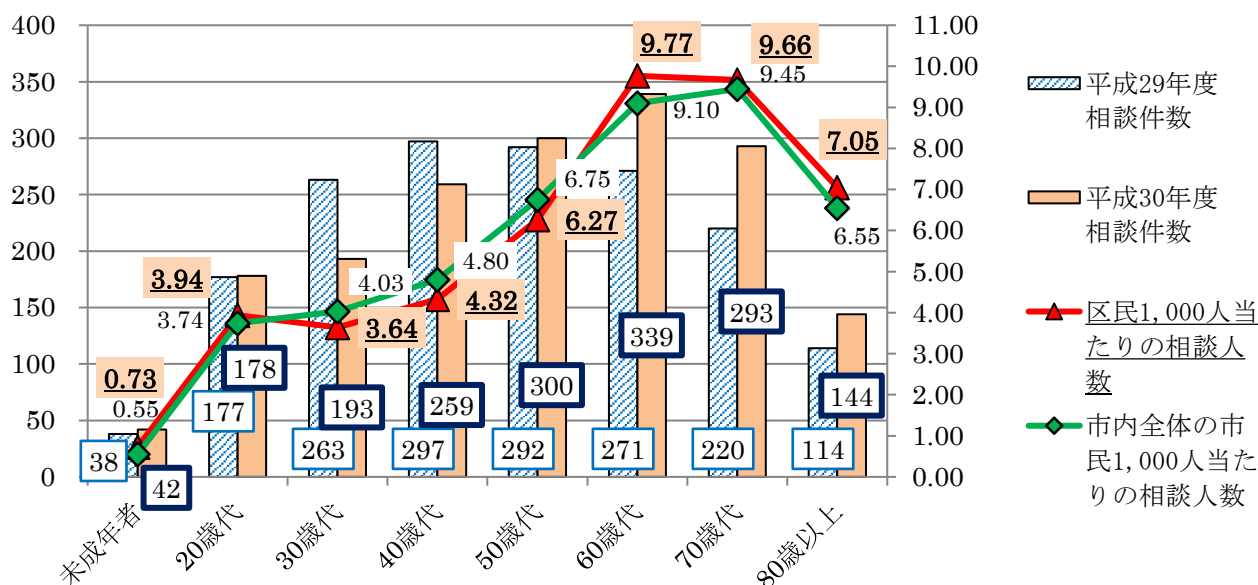
(1,000 人当たりの相談件数・件)



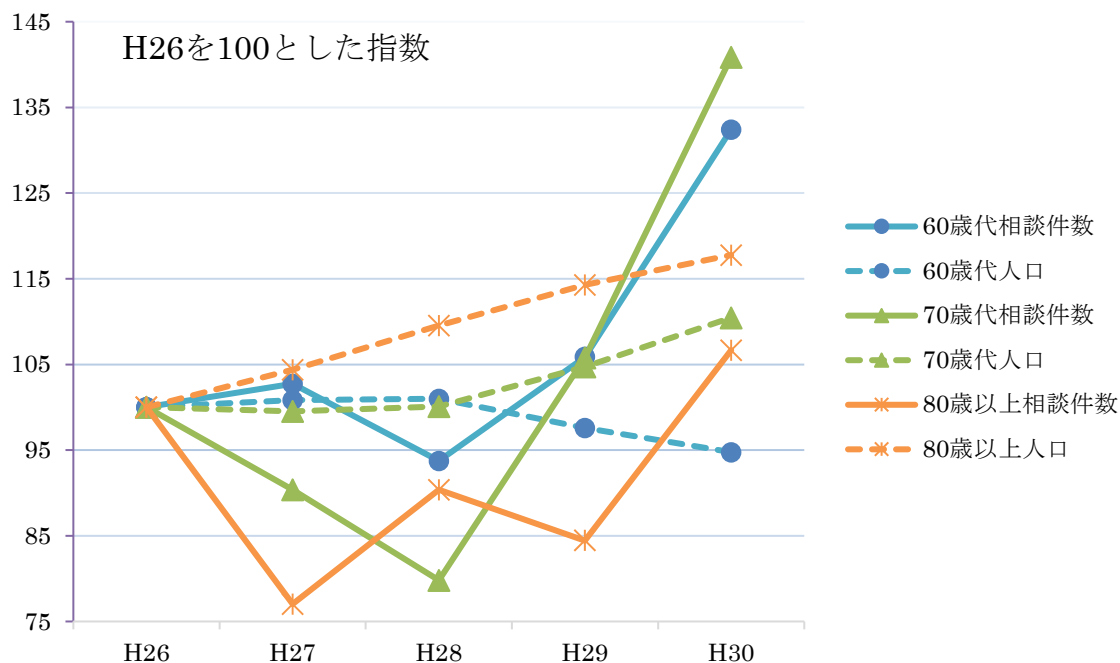
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

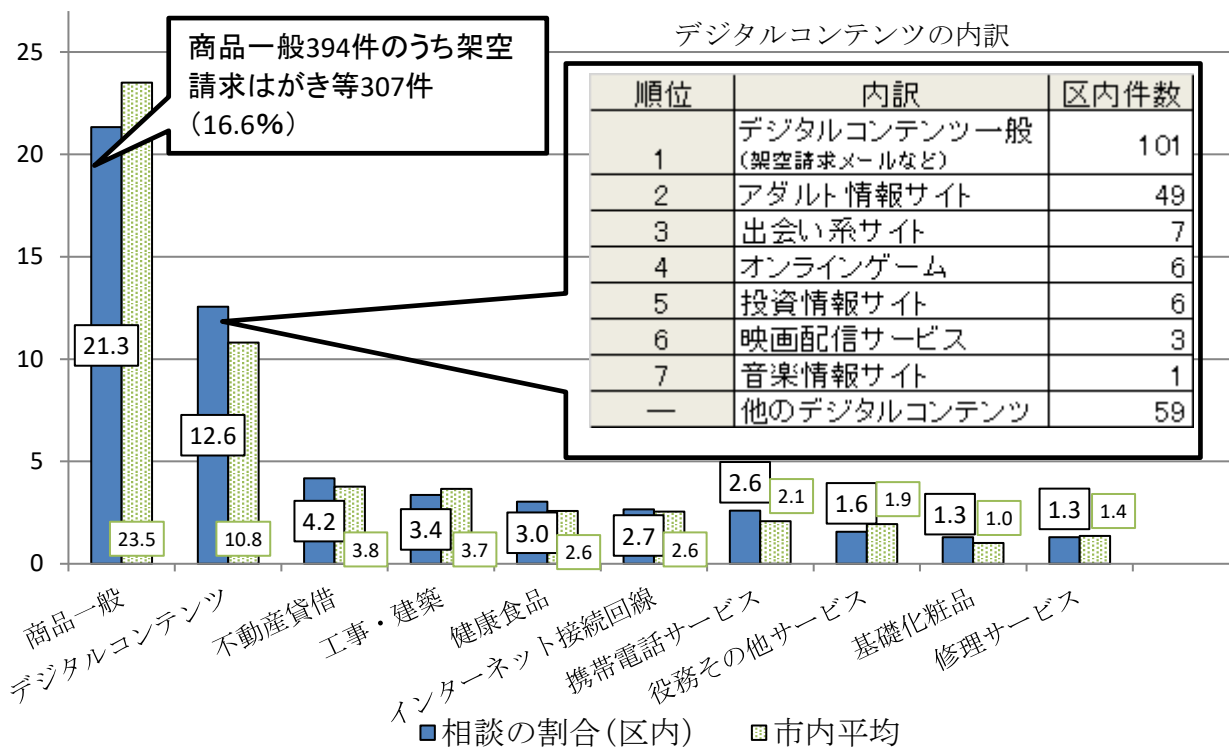


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

緑 区

837 件

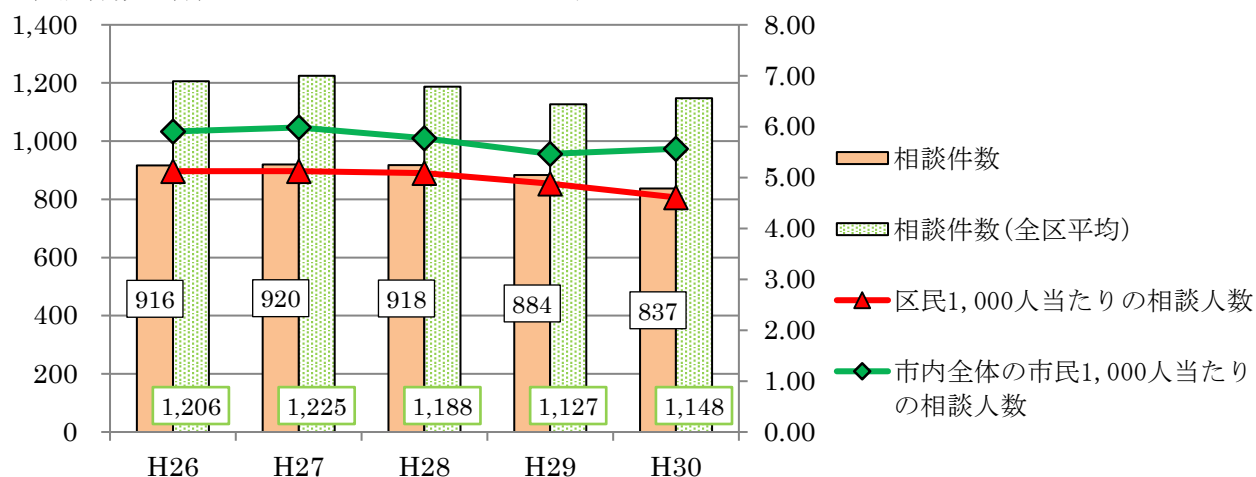
前年度比 ▲5.3%

相談件数も、区民 1,000 人当たりの相談人数も、全区平均を 5 年連続で下回る。しかし、年代別で見ると 60 歳代以上は前年より増えている。また、60 歳代では人口が減っているのに対して相談件数は増加している。原因は架空請求はがきの急増である。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

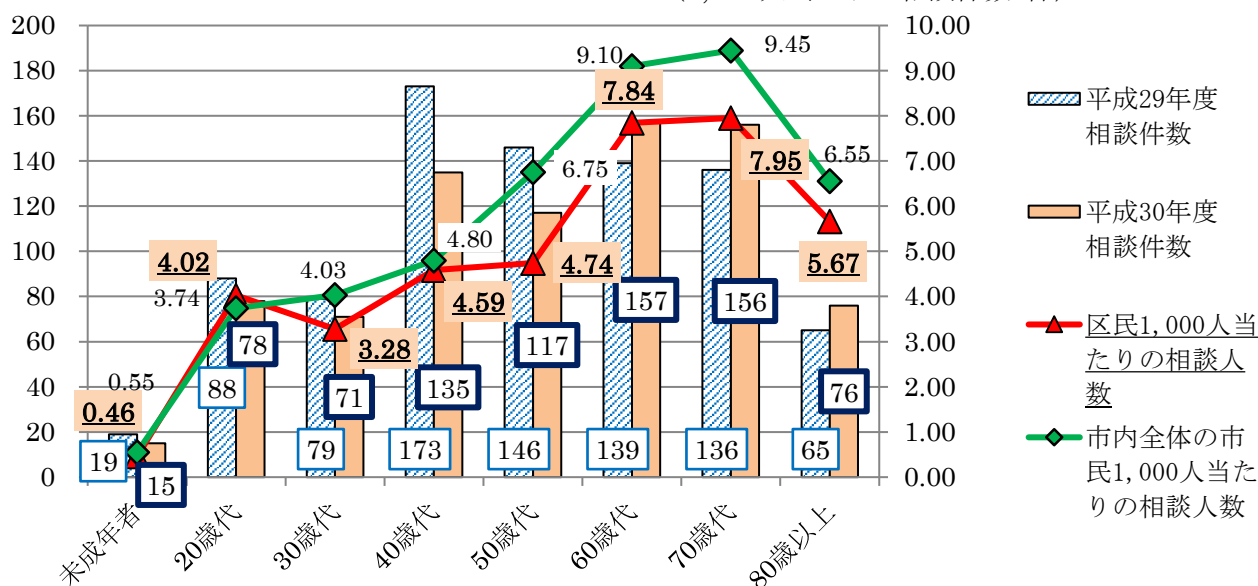
(1,000 人当たりの相談件数・件)



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

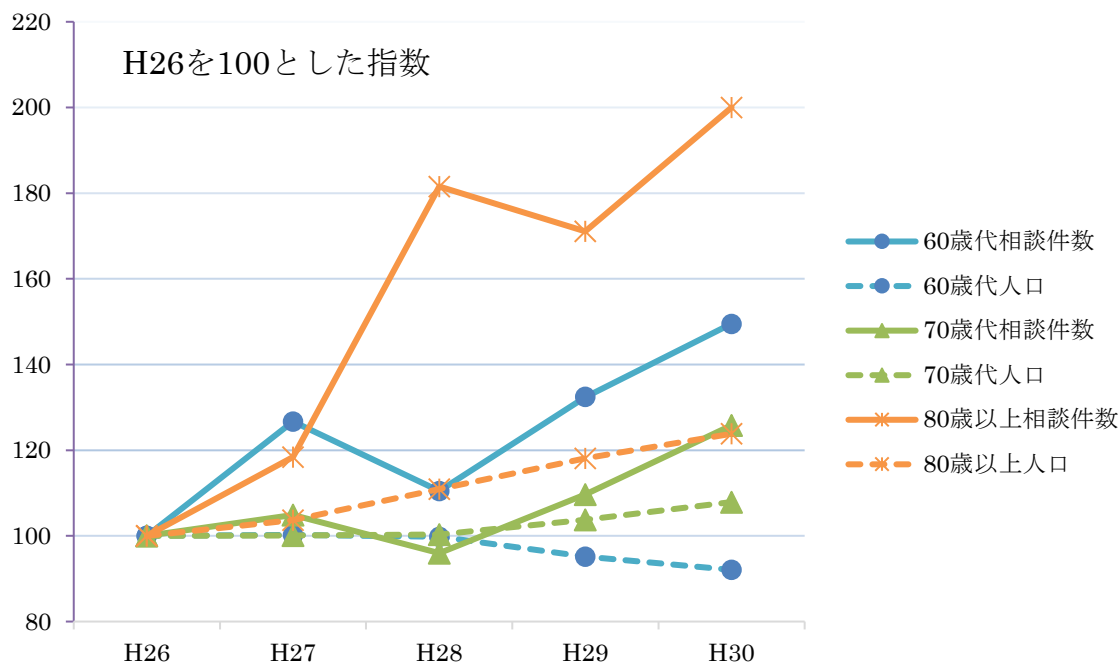
(1,000 人当たりの相談件数・件)



③ 高齢者の消費生活相談と人口推移

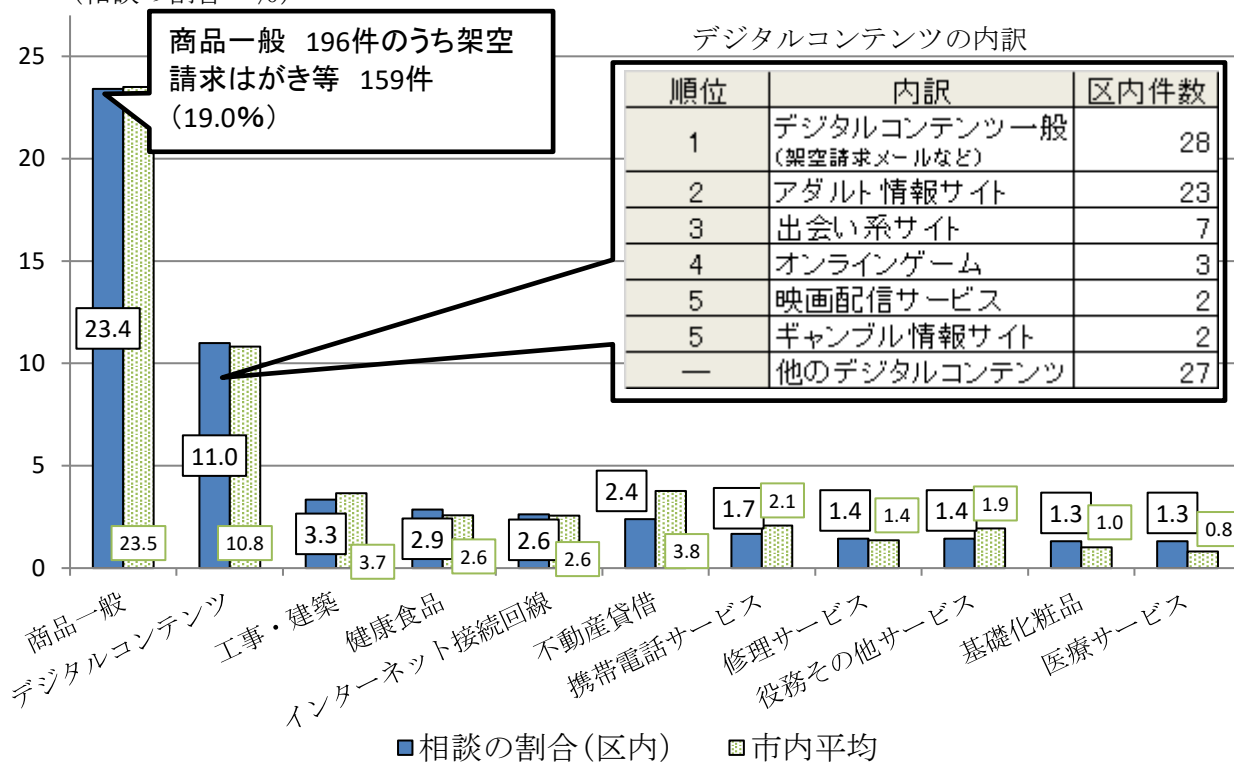
緑

区



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

青 葉 区

1,530 件

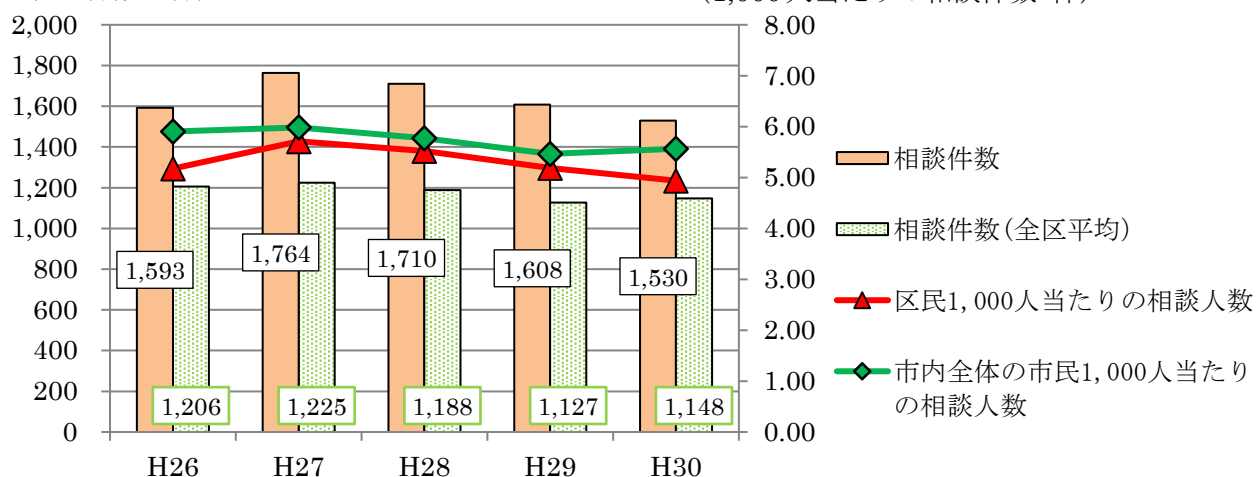
前年度比 ▲4.9%

相談件数自体は全区平均と比べて多いものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると平均を 5 年連続で下回る。年代別でみると 60 歳代以上は前年より増えている。また、60 歳代では人口が減っているのに対して相談件数は増加しており、70 歳代、80 歳以上も前年より人口増に比べて著しく伸びている。増加の原因は架空請求はがきによる。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

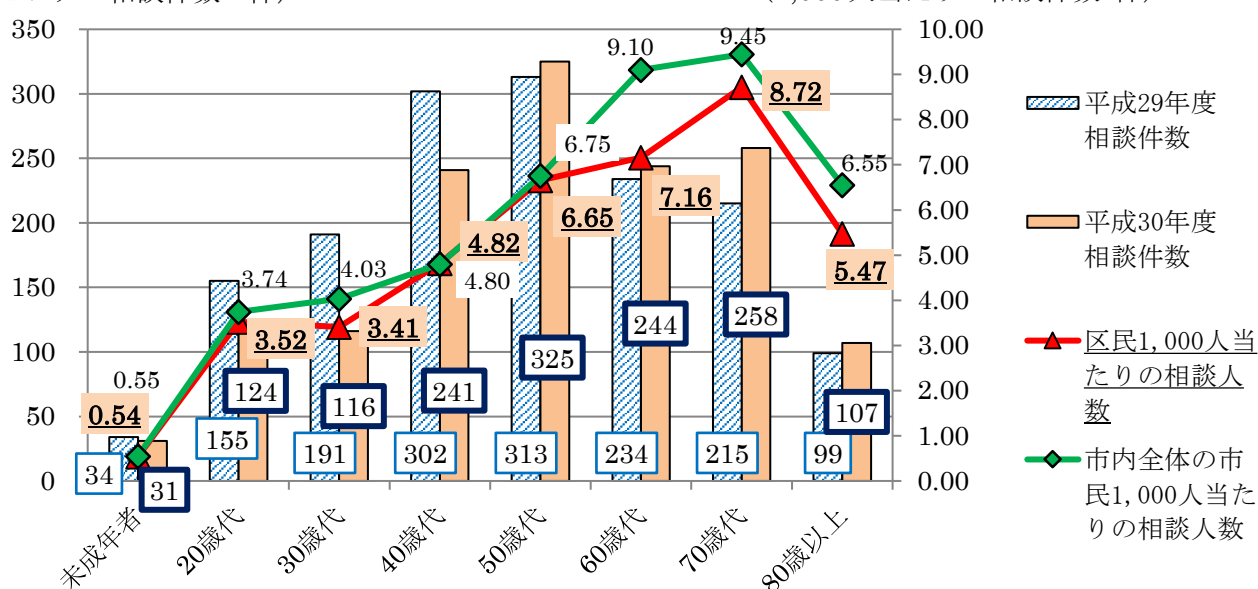
(1,000 人当たりの相談件数・件)



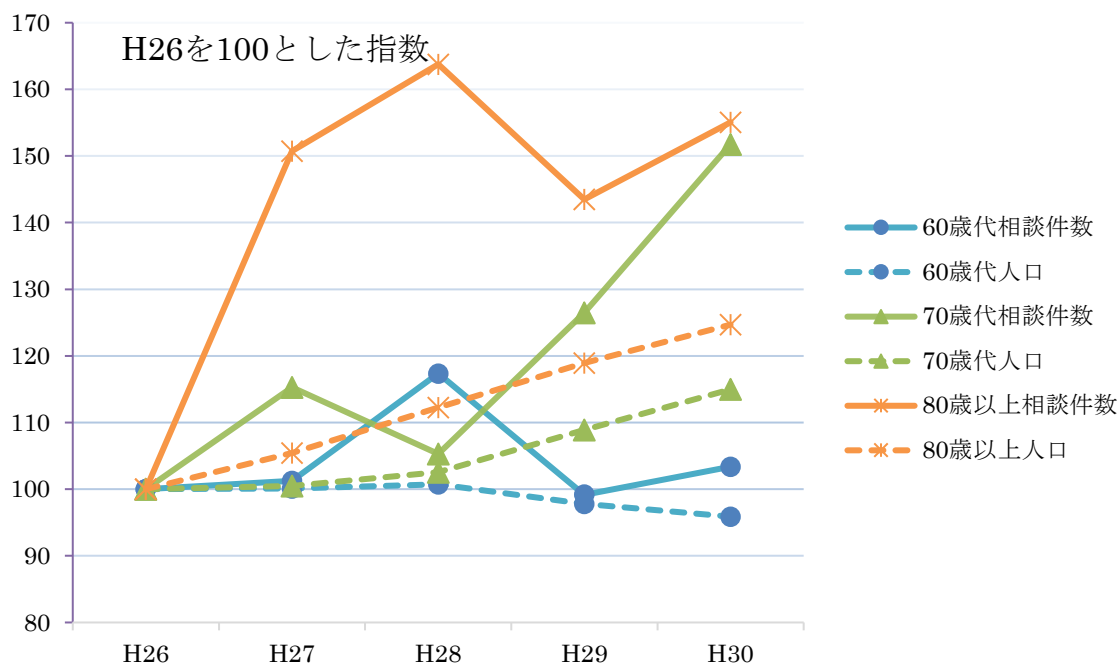
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

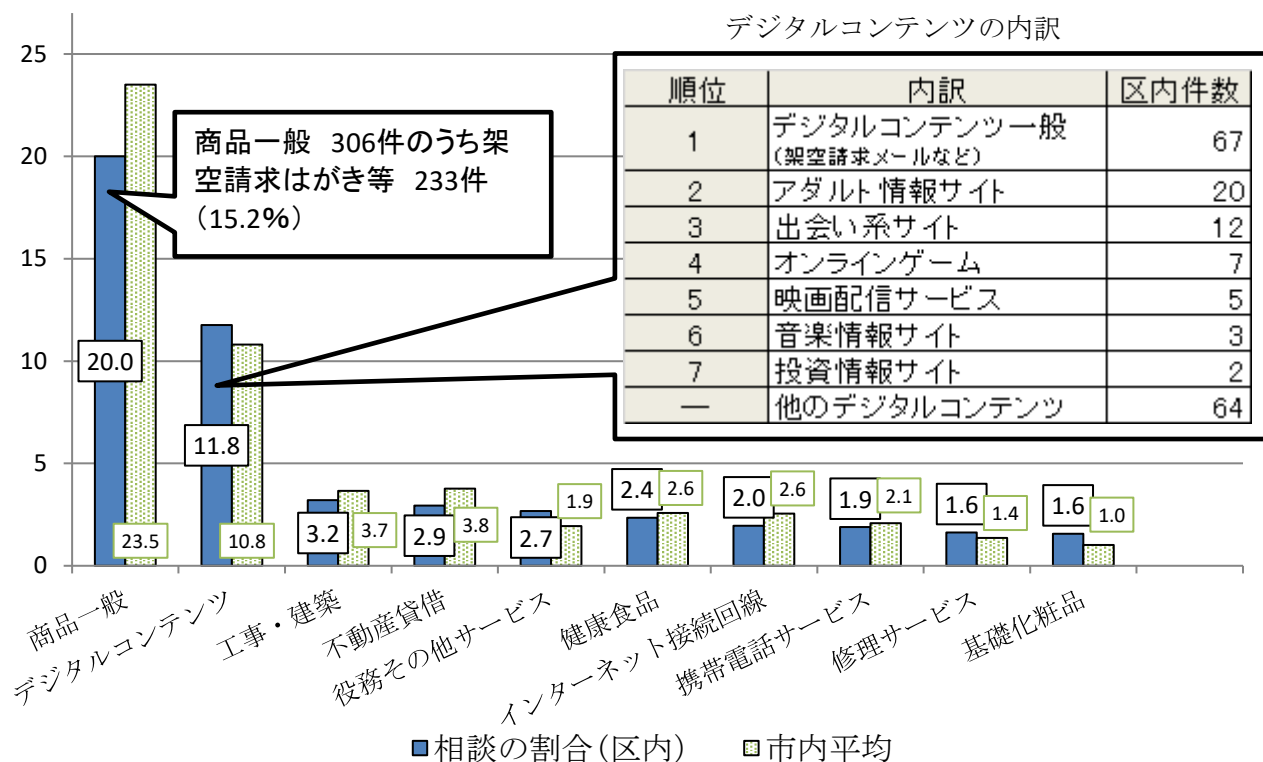


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

都 筑 区

936 件

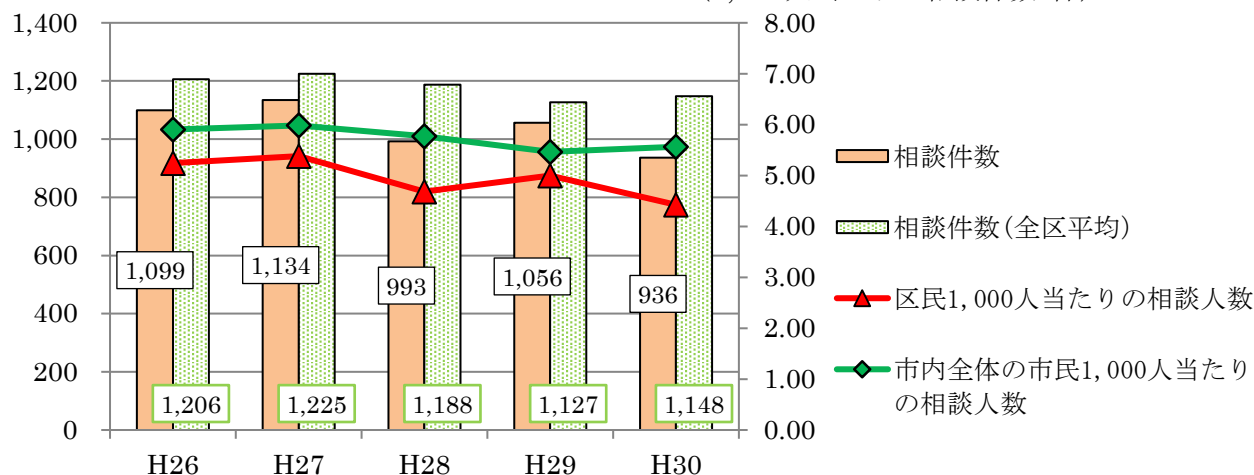
前年度比 ▲11.4%

相談件数は前年度と比べて 11.4%減少し、全区平均を 5 年連続で下回り、特に区民 1,000 人当たりの相談人数は全市で最も少なくなっている。年代別でみると 30 歳代、40 歳代は前年より減少し、70 歳代は前年より増えている。また、70 歳代は人口増加だが相談件数の伸びは著しく、逆に 80 歳以上は人口が伸びているが相談件数は減少。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

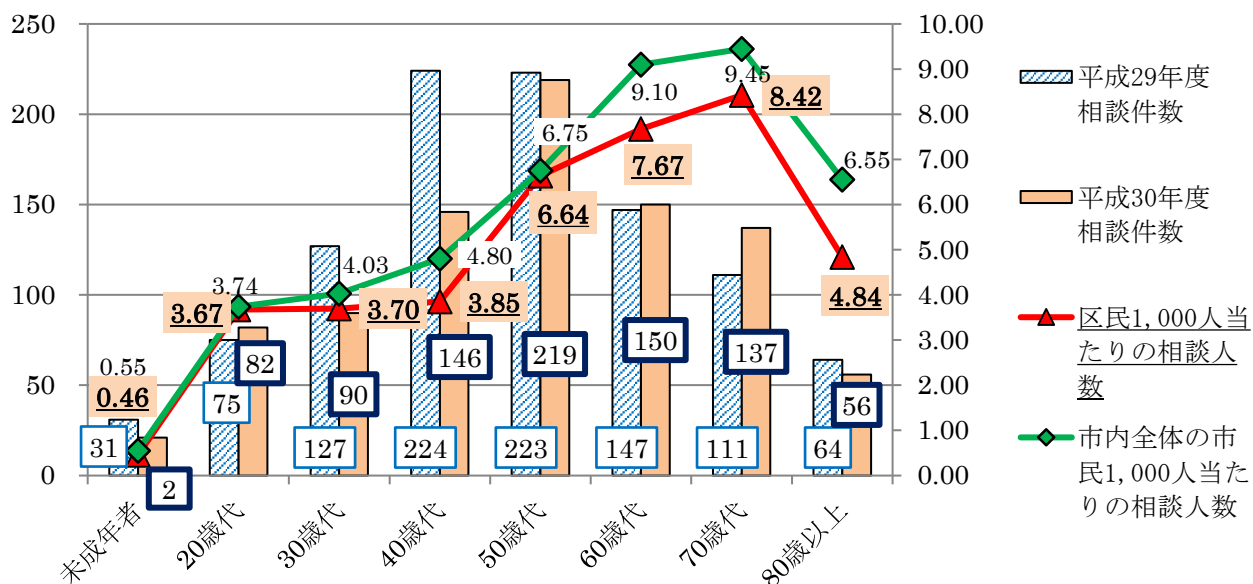
(1,000 人当たりの相談件数・件)



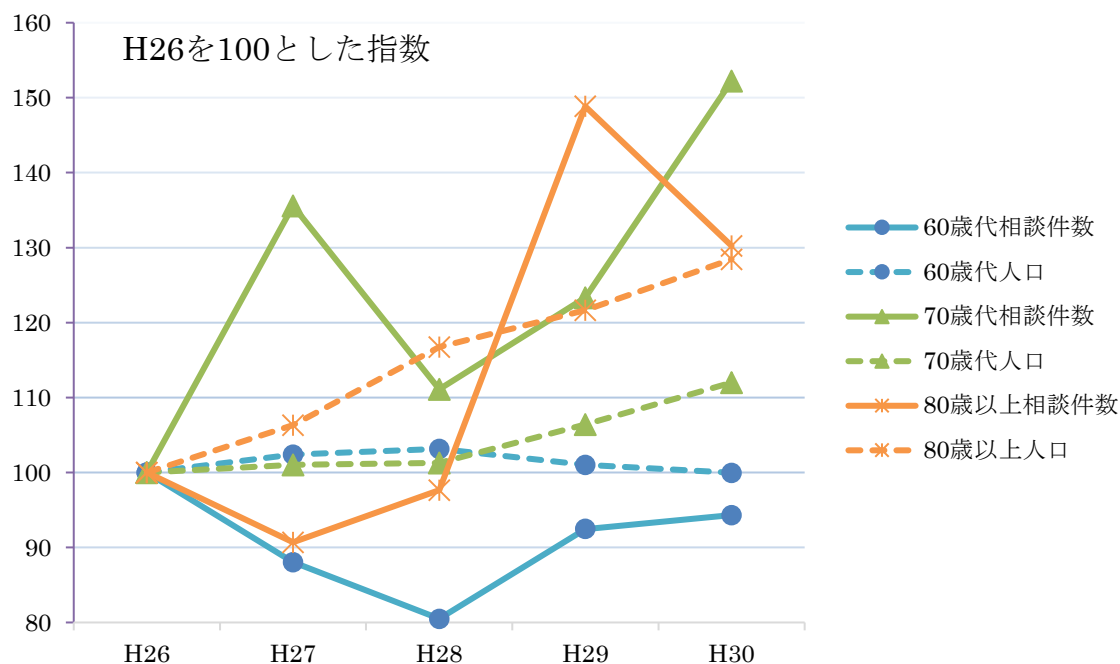
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

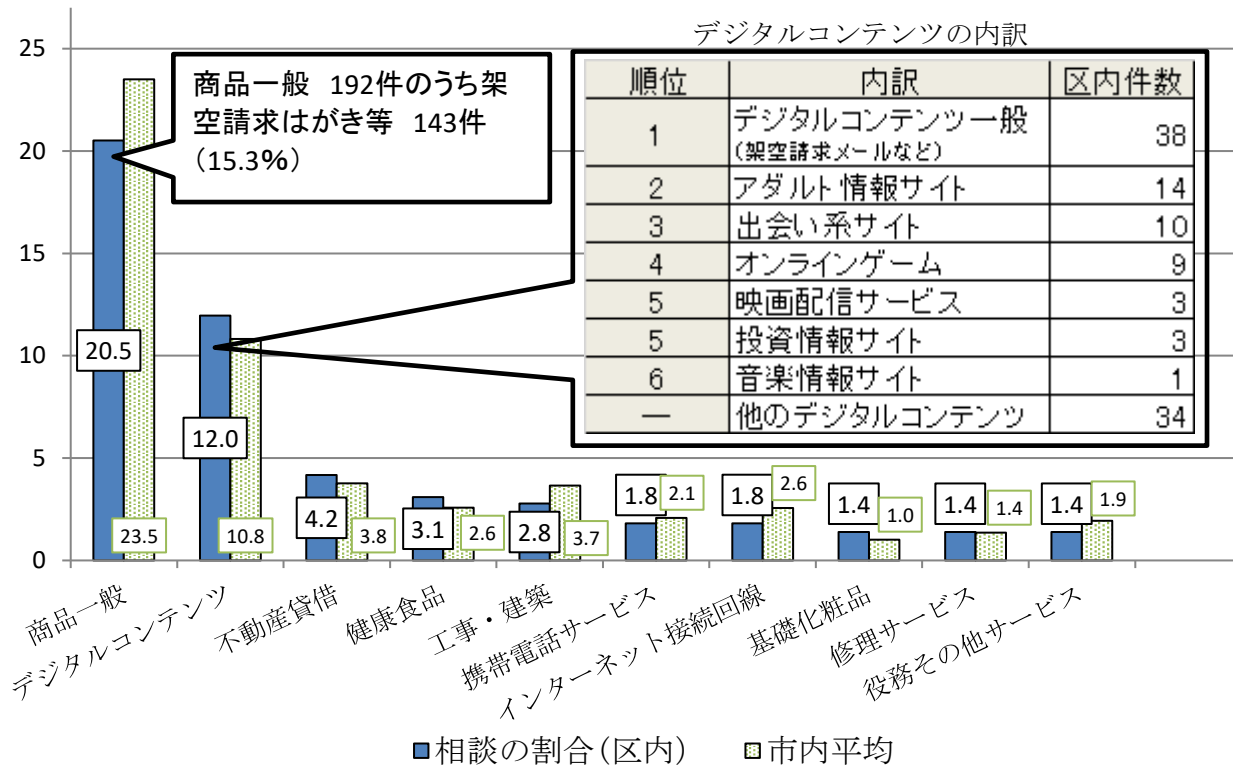


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

戸 塚 区

1,662 件

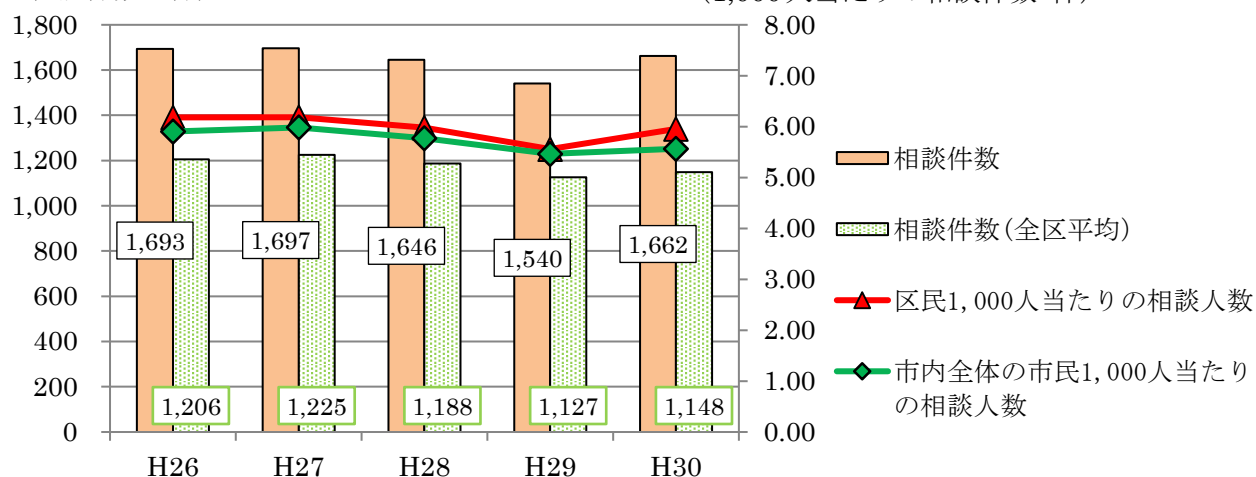
前年度比 **+7.9%**

相談件数自体は全区平均より多く、区民 1,000 人当たりの相談人数で見ると平均近くを推移している。年代別では 60 歳代の 1000 人あたりの相談人数 11.17 人は 18 区中 1 位、70 歳代は 2 位となっており、相談件数も前年より増えている。また、60 歳代は人口が減っているにもかかわらず、70 歳代についても人口増加以上に相談件数が大幅に増加している。原因は架空請求はがきによる。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

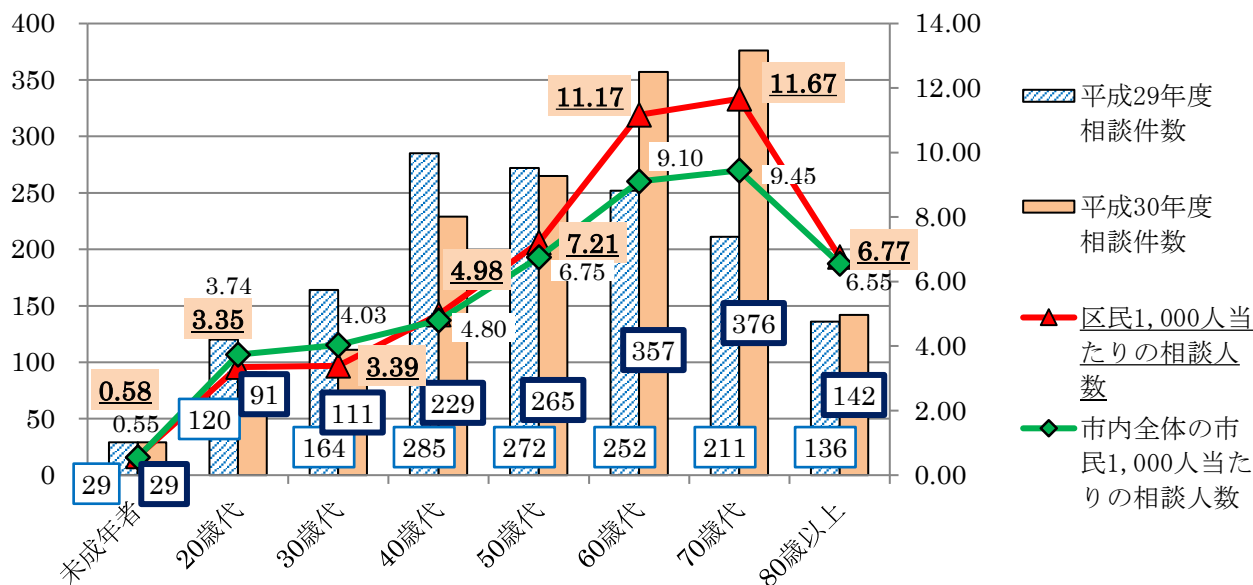
(1,000 人当たりの相談件数・件)



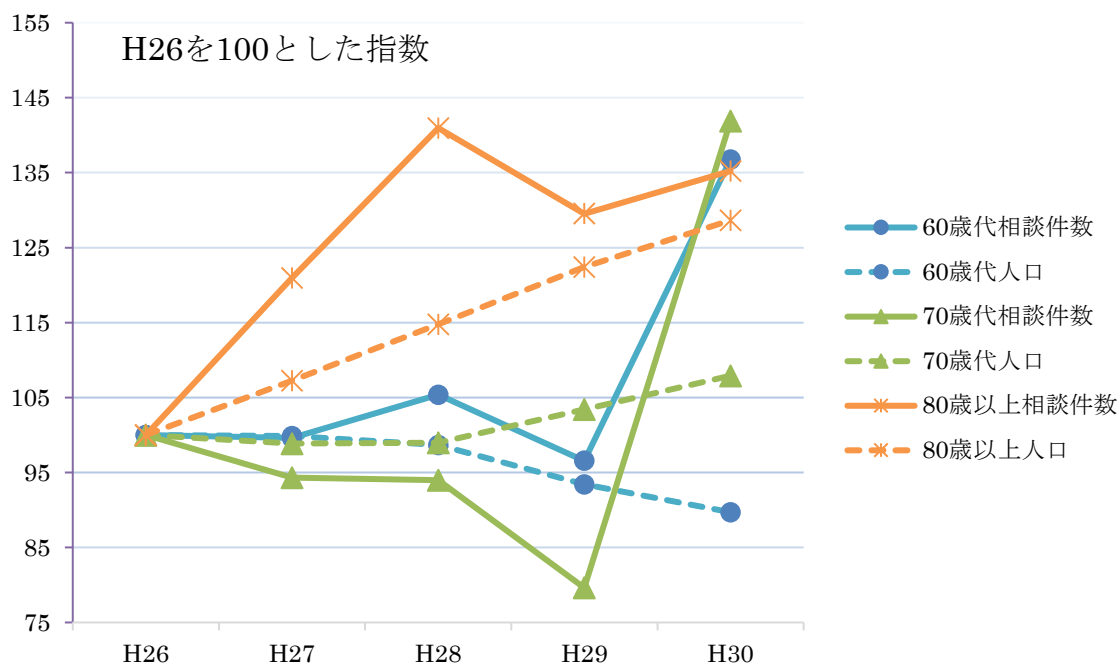
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

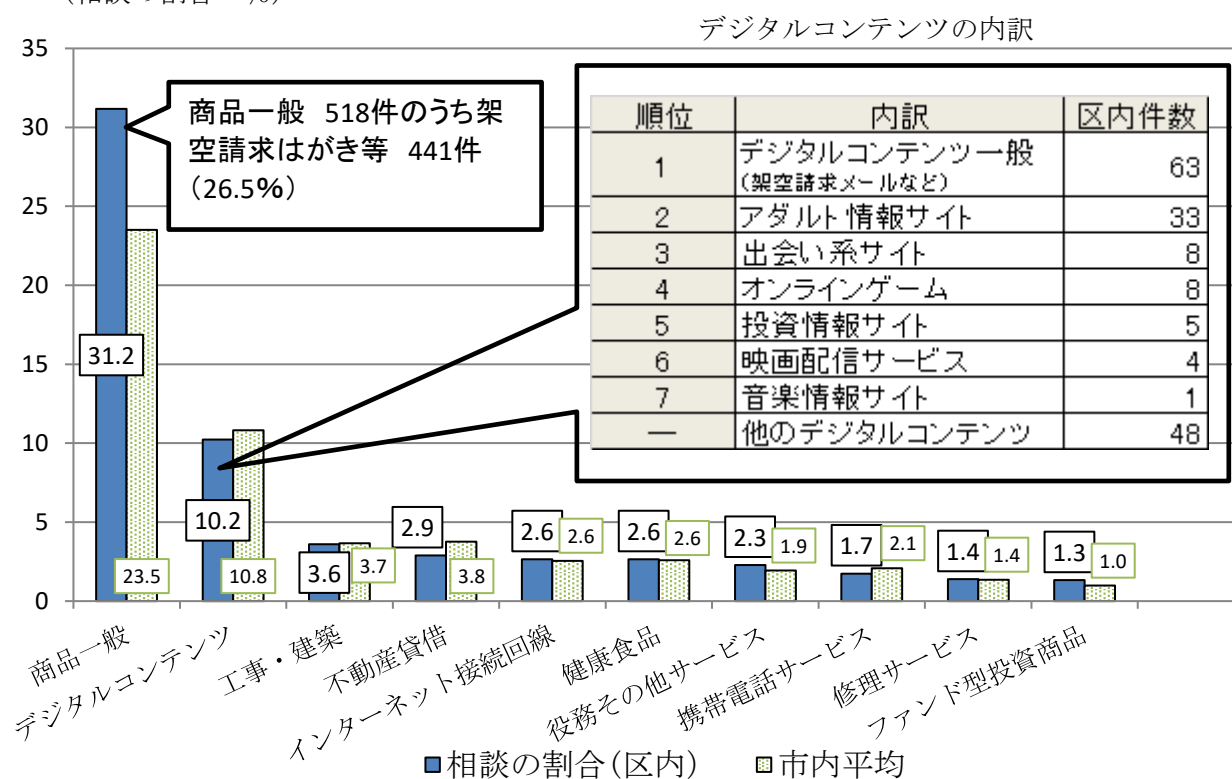


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

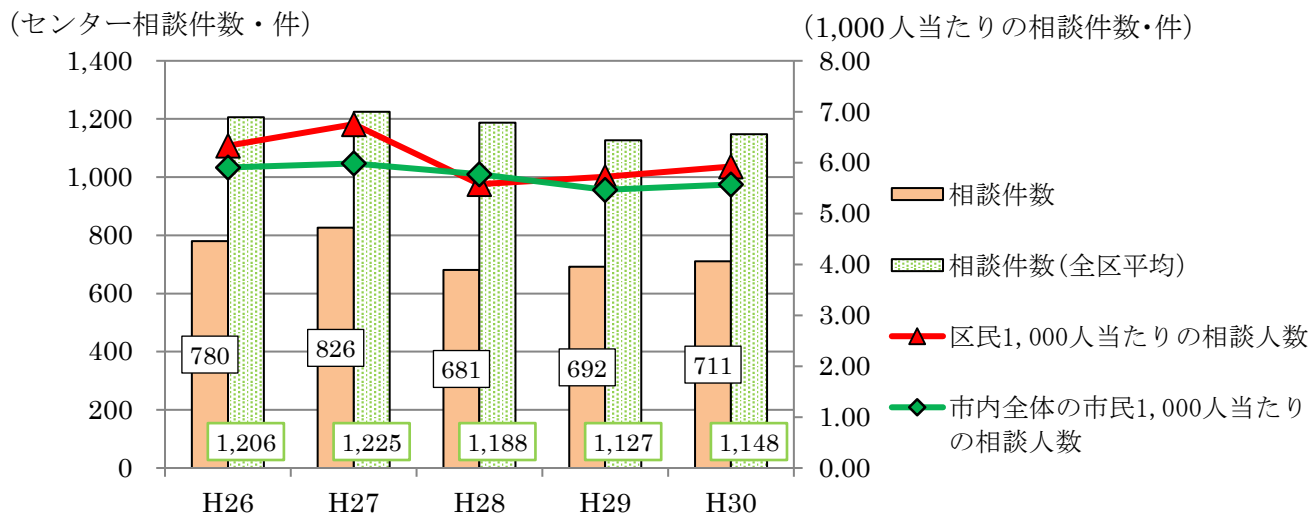
栄 区

711 件

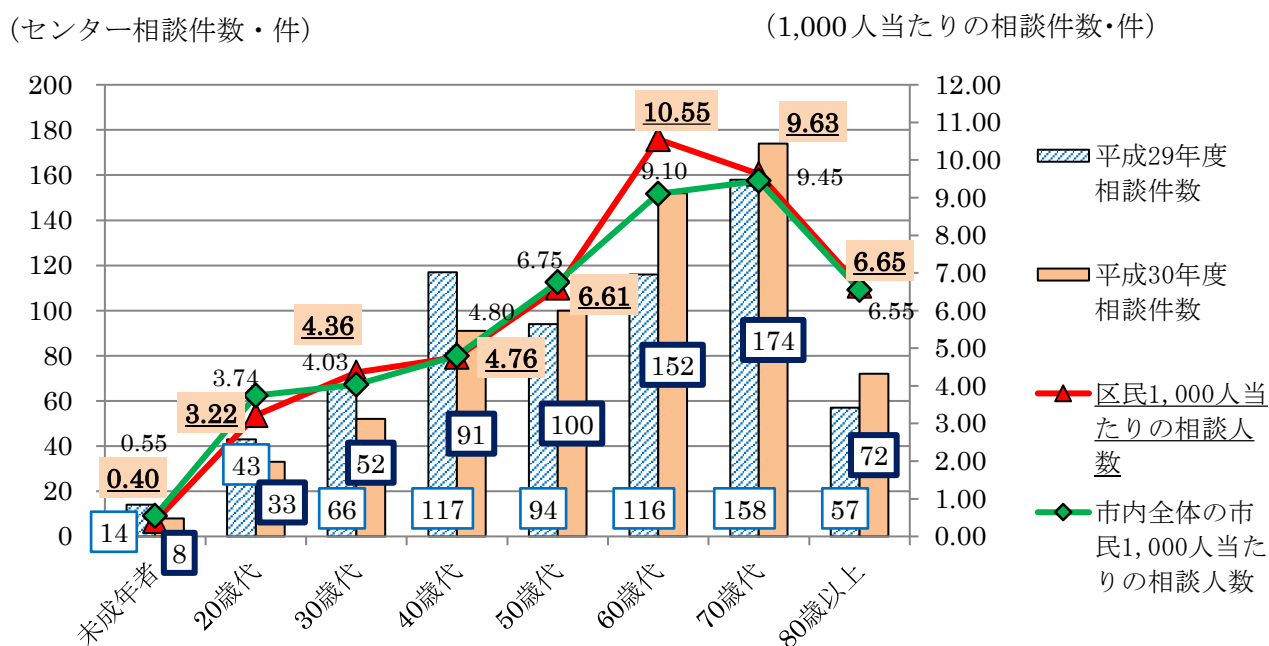
前年度比 +2.7%

相談件数自体は平均より少ないものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると平均近くを推移している。年代別でみると 60 歳代以上は前年より増えている。また、60 歳代では人口が減っているのに対して相談件数は増加している。増加の原因は架空請求はがきによる。

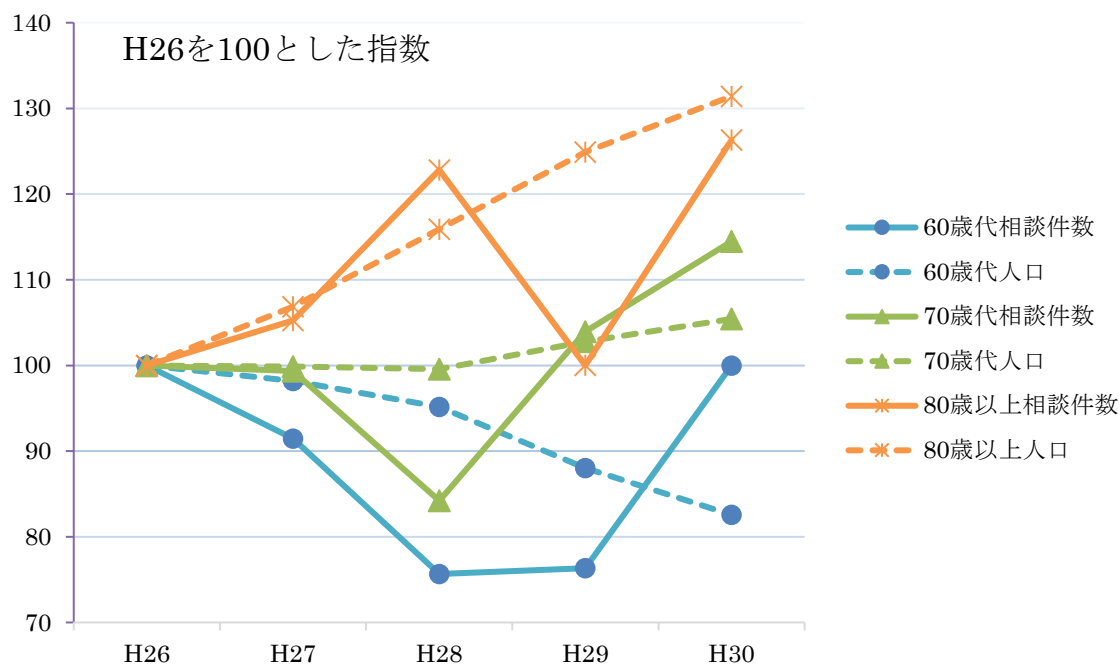
① 5 年間の相談件数の推移



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

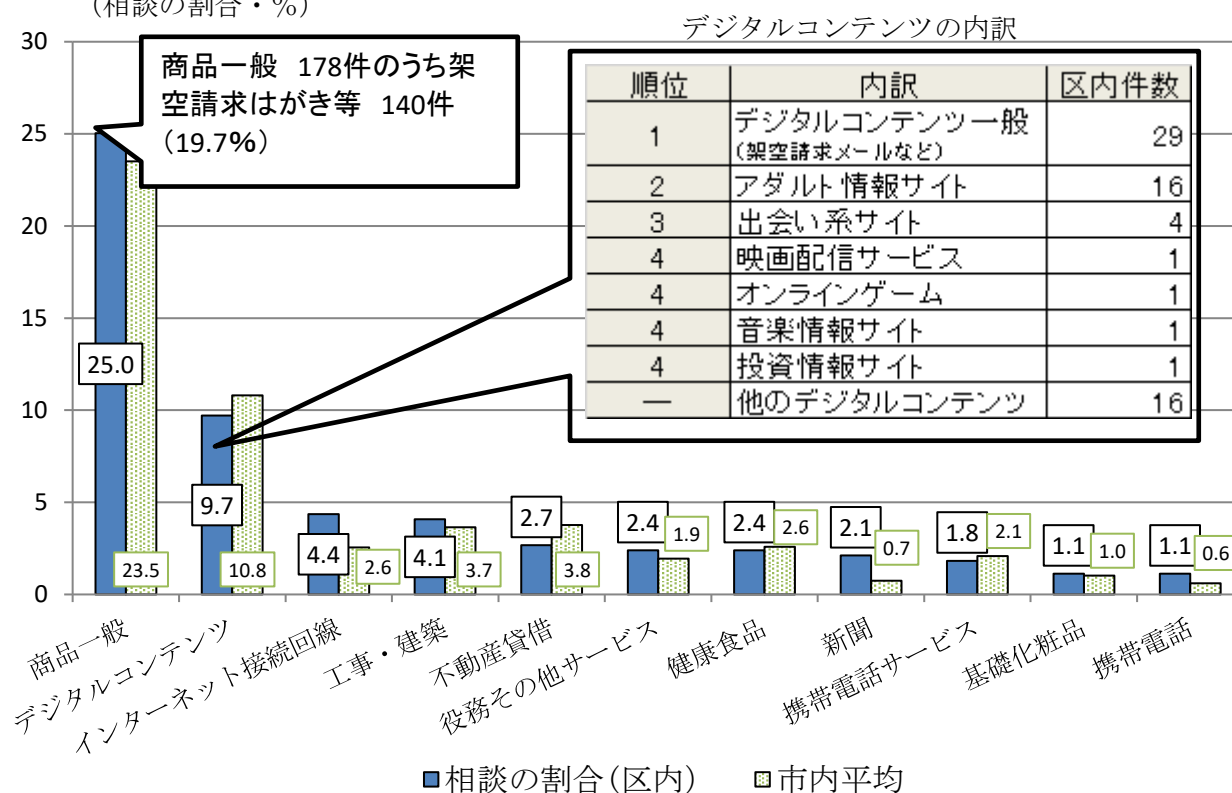


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 販売形態別の相談割合

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの
 注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）
横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

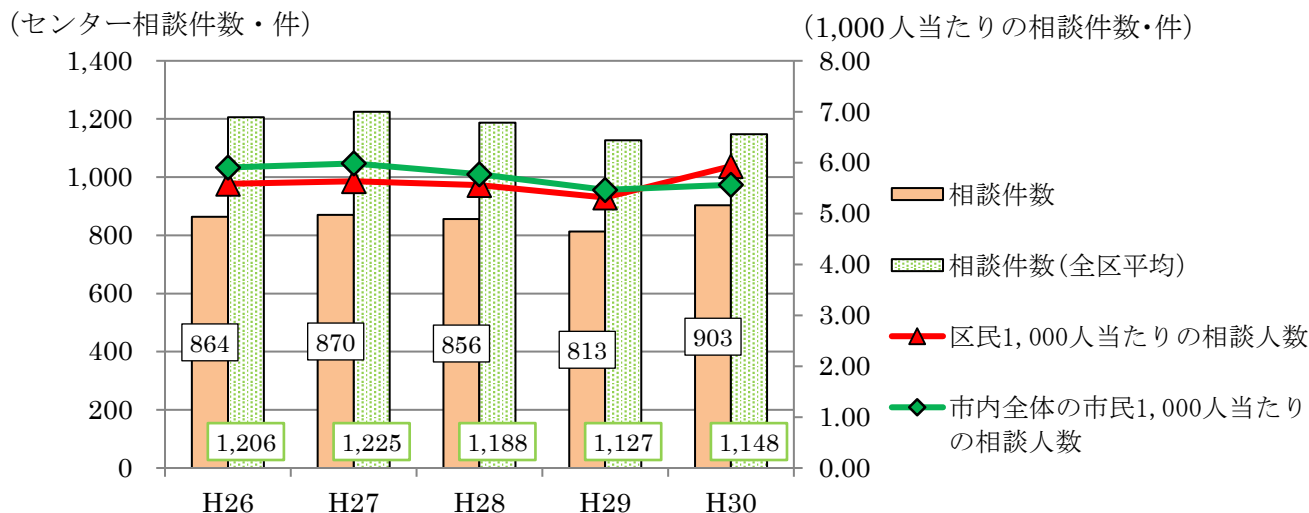
泉 区

903 件

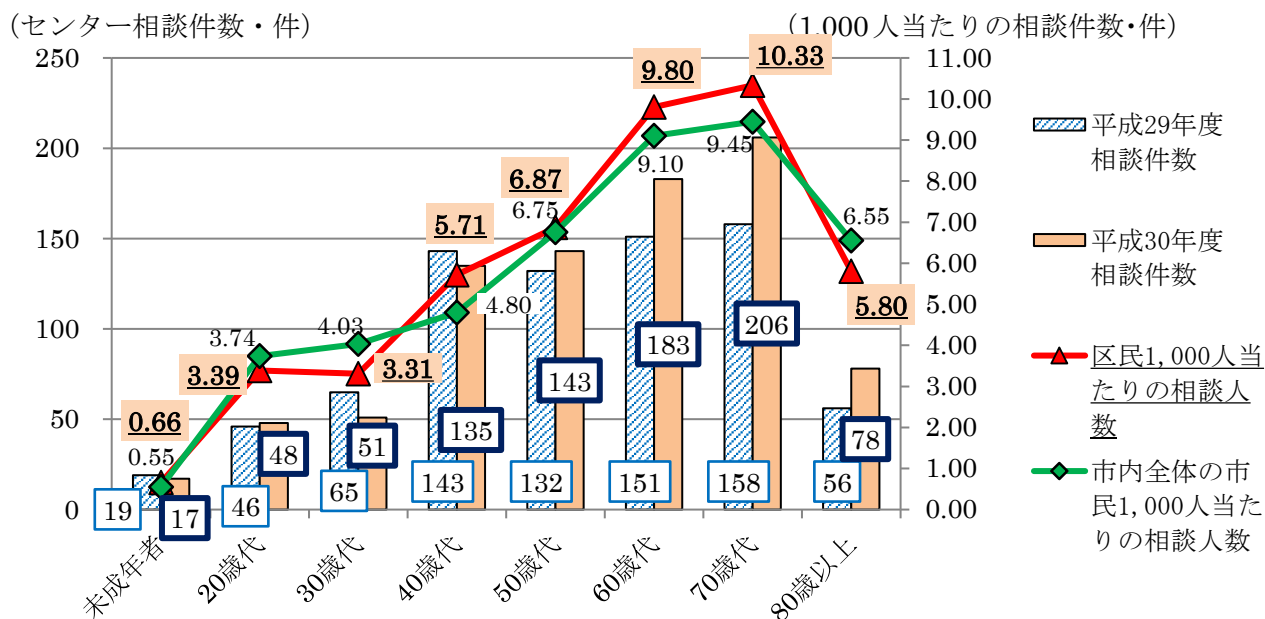
前年度比 +11.1%

相談件数、全区平均を下回るが、区民 1000 人あたりの相談人数は平均近くを推移している。年代別で見ると未成年者の 1000 人あたりの相談人数 0.66 人は 18 区中 3 位、60 歳代、70 歳代では前年より相談件数は大幅に増えた。また、60 歳代では人口が減っているのに対して相談件数は大幅に増加している。増加の原因は架空請求はがきによる。

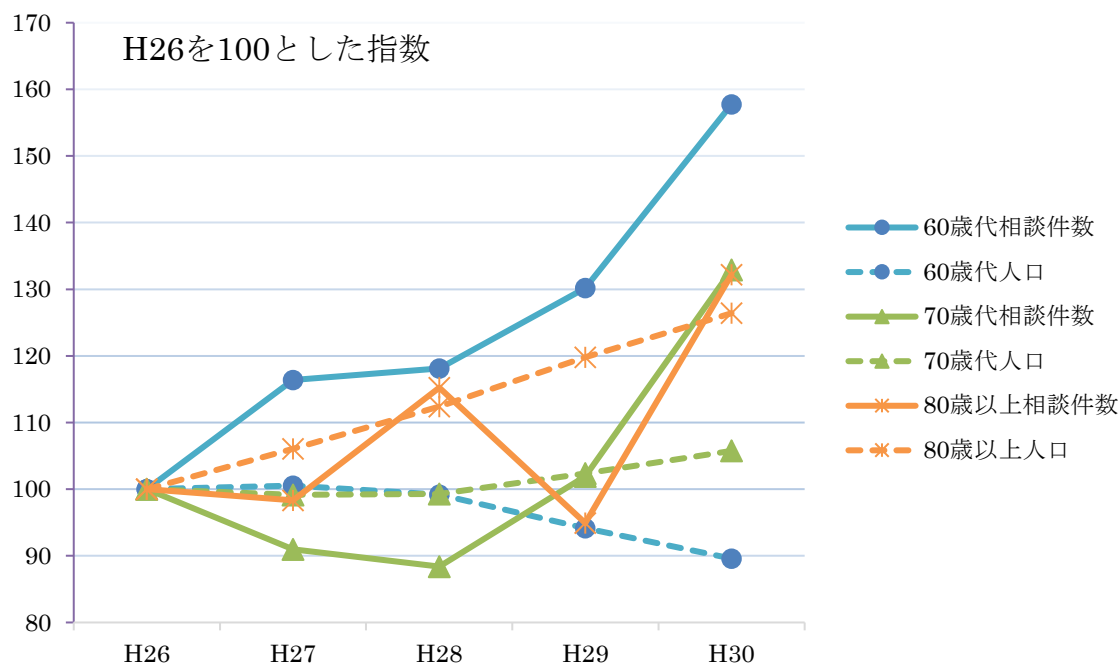
① 5 年間の相談件数の推移



② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

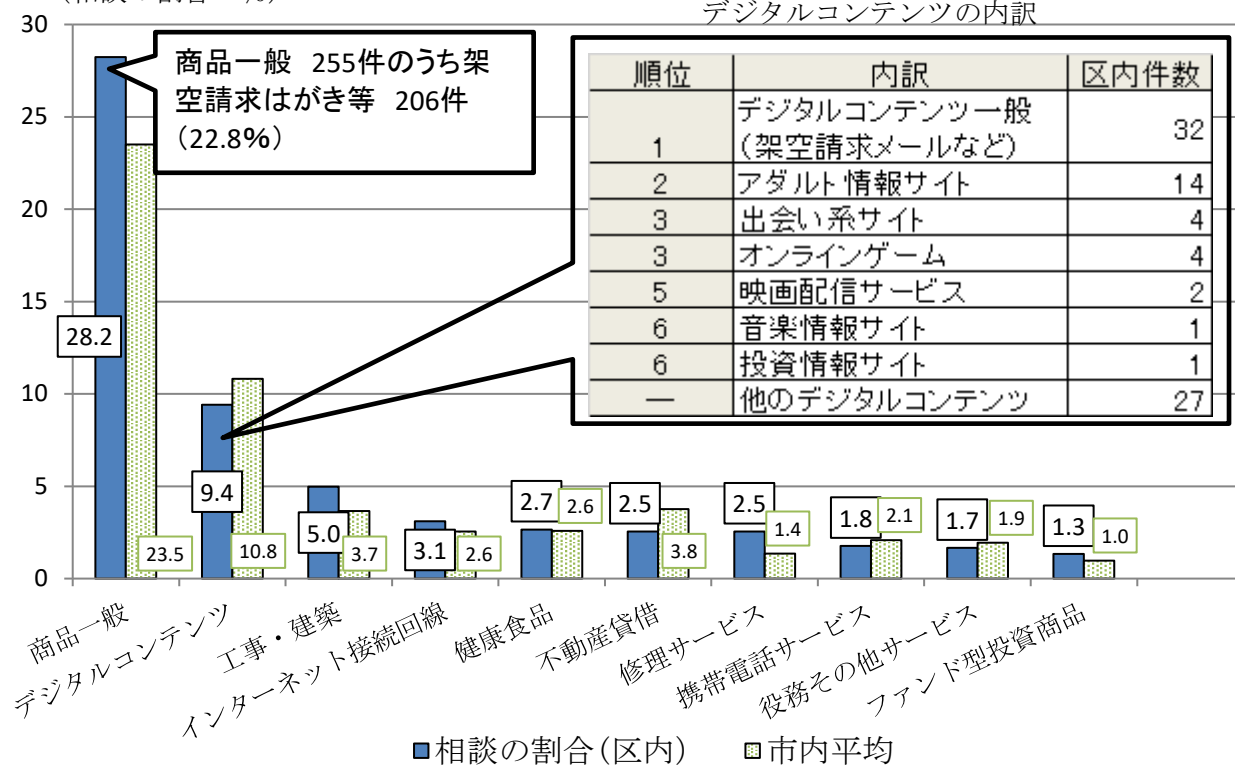


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保健・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの

平成 30 年度（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

横浜市消費生活総合センターに寄せられた相談概況

瀬谷区

628 件

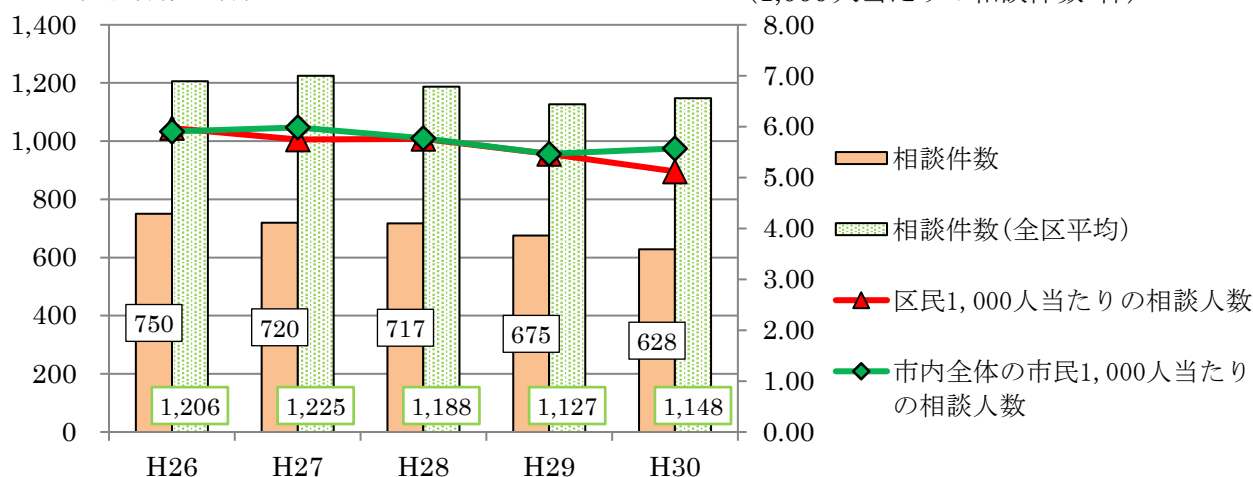
前年度比 ▲7.0%

相談件数自体は少ないものの、区民 1,000 人当たりの相談人数でみると全区平均とほぼ同じ傾向で推移していた。年代別でみると 50 歳代以上は前年より増えた。80 歳以上は人口が多いにもかかわらず相談件数は比較的低い。60 歳代では人口が減っているのに対して相談件数は増加している。増加の原因は架空請求はがきによる。

① 5 年間の相談件数の推移

(センター相談件数・件)

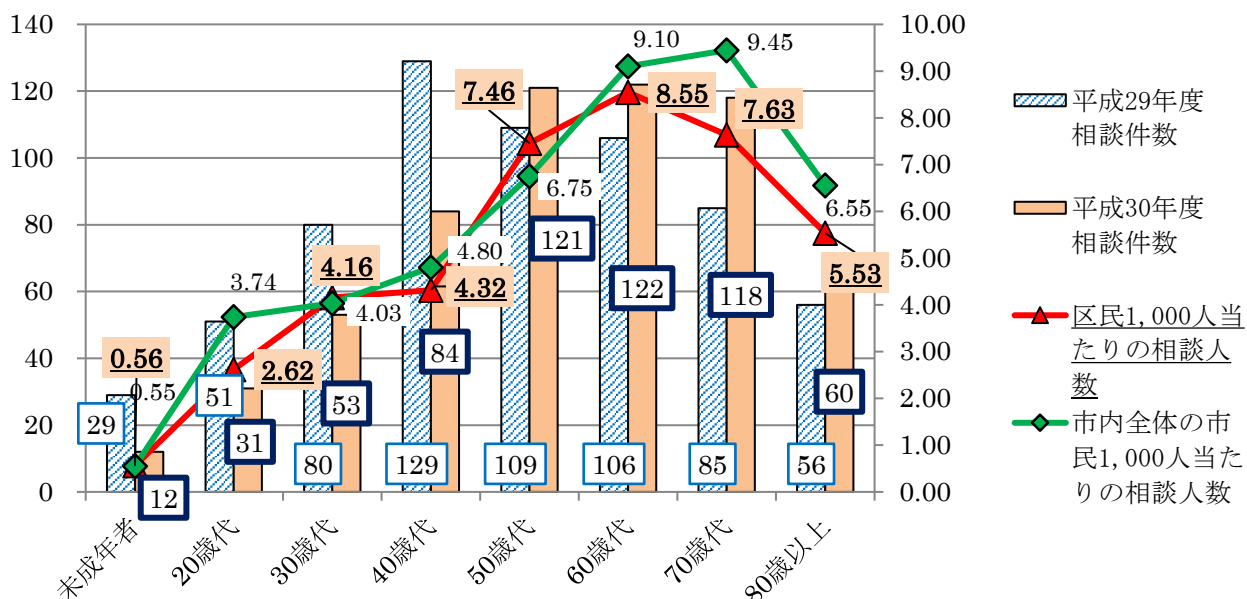
(1,000 人当たりの相談件数・件)



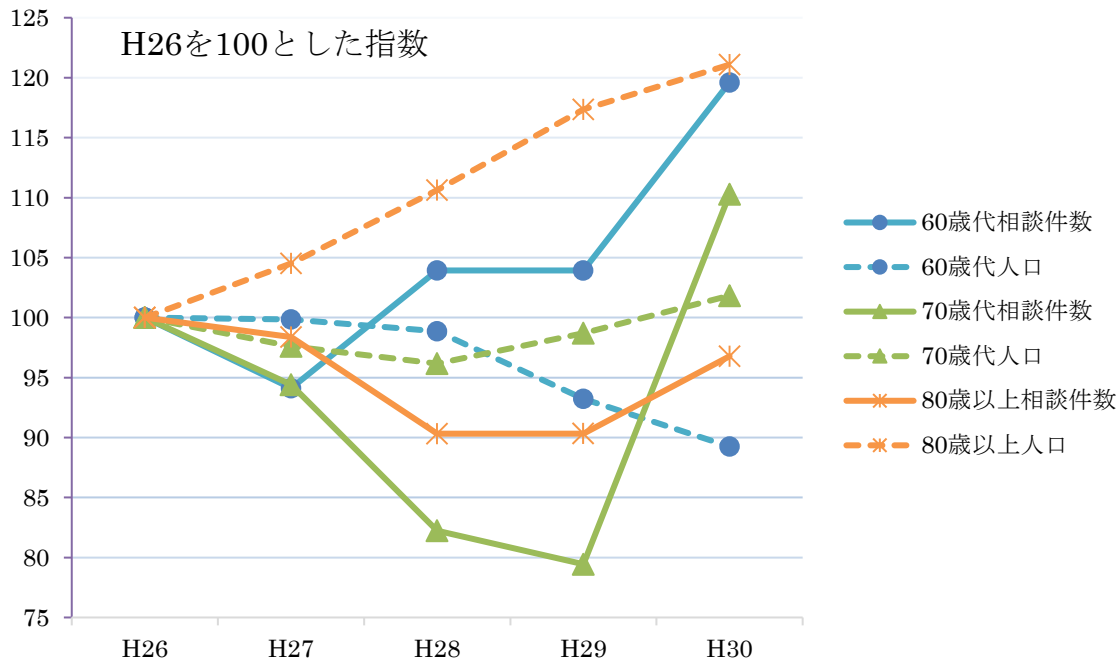
② 契約当事者年代別 区内相談件数（人口対比）

(センター相談件数・件)

(1,000 人当たりの相談件数・件)

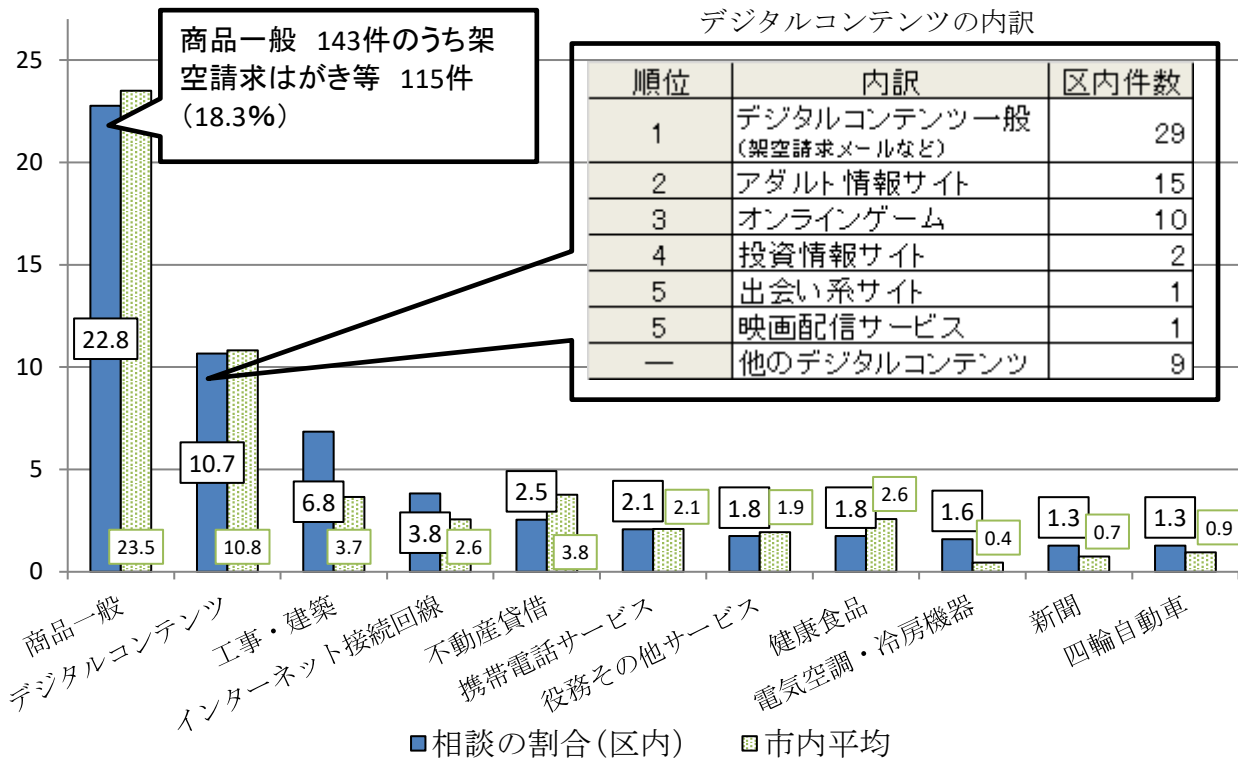


③ 高齢者の消費生活相談と人口推移



④ 商品・役務別上位10位

(相談の割合・%)



注1 「商品一般」は、商品の特定ができない／身に覚えのない架空請求等に関するもの

注2 「役務その他サービス」は、サービス業のうち「金融・保険」「運輸・通信」「教育」「教養・娯楽」「保険・福祉」「外食・食事宅配」「冠婚葬祭」「家事」などのサービスに該当しない役務に関するもの